

2023年度 教科課程

社会福祉科

1 年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般 科目	キャリアプラン ニング	Career Planning	一般 科目	必修	講義	4	60	30	30	自らの目指す職業像に近づくための知識、スキルを高めると共に、課題と対策を自ら考え成長へと繋げる姿勢を身につける。
	文章表現	Basic Writing Skills	一般 科目	必修	講義	2	30	30		分かりやすく明確な文を書くための文章表現力を身につける。
	コミュニケー ション技法	Communication Skill	一般 科目	必修	講義	2	30	30		言語による意思疎通能力と非言語的な要素の活用したコミュニケーション技術を身につける。
	チャレンジプロ グラム指導	Seminar for Challenge Program	一般 科目	必修	演習	2	60		30	チャレンジプログラムに向けて実習施設に関する理解を深め、必要な知識・技術・法令等遵守について確認する。
	チャレンジプロ グラム	Challenge Program	一般 科目	必修	演習	5	150		150	さまざまな方を支援するための基盤となるコミュニケーション力を身につける。
	情報リテラシー I	IT Literacy I	一般 科目	必修	演習	2	60	30	30	社会人または対人援助職にとって必要な情報を正しく扱う知識や姿勢を身につける。
	ソーシャルワー ク特別演習 I	Social Work Developmental Exercise I	一般 科目	必修	演習	1	30	30		ソーシャルワークにおける知識・技術を体系的に学ぶための確認をする。
	滋慶選択科目	Elective SubjectS	一般 科目	選択	講義	1	15			多分野の知識・技術を習得するとともに、専門性を超えた交流の輪を広げ、人間性を豊かにすることにつなげる。
専門 科目	心理学と心理的 支援	psychology and Psychological support	社会 精神 指定 科目	必修	講義	2	30		30	人の心の基本的な仕組みと機能や人の成長・発達段階に特有の心理的課題を理解するとともに、日常生活と心の健康との関係、環境との相互作用の中で生じる心理的反応、心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援を理解する。
	障害者福祉	Support for the Challenged Person	社会 精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程を踏まえ、障害者に対する法制度と支援の仕組み、障害の概念と特性、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。また、障害による生活課題を踏まえた社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門科目	ソーシャルワークの理論と方法	Social Work Theory and Methods	社会精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークと、ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解するとともに、ソーシャルワークの過程、記録、ケアマネジメント、集団を活用した支援、コミュニティワーク、スーパービジョンとコンサルテーションについて理解する。
	ソーシャルワーク演習	practice for Social Work	社会精神指定科目	必修	演習	1	30	30		ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解するとともに、ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力、ソーシャルワークの展開過程において用いられる、知識と技術を実践的に理解する。
	現代の精神保健の課題と支援	Contemporary Mental Health Issues and Support	精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	現代の精神保健分野の動向と課題を理解し、精神保健の保持・増進と発生予防のための支援及び専門機関や関係職種との役割と連携について理解する。
	精神保健福祉の原理	Principles of Mental Health Welfare	精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。また、精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の裏面をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。
	精神障害リハビリテーション論	Theory of Mental Disorder Rehabilitation	精神指定科目	必修	講義	2	30		30	精神障害リハビリテーションの概念とプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解し、援助場面で活用できる。そして、精神障害リハビリテーションプログラムの知識を援助場面で活用できる。
	高齢者福祉	Elderly welfare	社会指定科目	必修	講義	2	30	30		高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程を理解した上で、法制度と支援の仕組み、高齢者の定義と特性を踏まえた高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境、高齢期における生活課題を踏まえた社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。
	児童・家庭福祉	Child and Family Welfare	社会指定科目	必修	講義	4	60	30	30	児童・家庭福祉の定義、児童の権利、歴史や法制度を理解した上で、児童・家庭に対する支援における関係機関と専門職の役割、支援の実践を理解する。
	貧困に対する支援	Support for Poverty	社会指定科目	必修	講義	2	30	30		貧困の歴史と貧困観の変遷について理解した上で、貧困や公的扶助の概念をふまえ、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境、貧困に係る法制度と支援の仕組み、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。
			必修科目 総単位数 (45)						必修科目 総時間数 (840)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2023年度 教科課程

社会福祉科

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般科目	地域連携プログラム指導	Preparatory Class for Field Education Programs	一般科目	必修	演習	2	60	30	30	地域連携プログラムや学校行事等に関連した準備や振り返りを行うとともに、そのプロセスにおいて既習内容と関連させる。
	地域連携プログラム	Field Education Programs in Cooperation with Community Resources	一般科目	必修	演習	8	240	120	120	地域の施設で年間を通して実習を行うとともに、様々な団体等と連携し地域・社会の課題を解決する方法を身につける。
	情報リテラシーⅡ	IT literacyⅡ	一般科目	必修	演習	2	60	30	30	社会人または対人援助職にとって必要な情報を正しく扱う知識・技術を身につける。Ⅱ
	スクールソーシャルワーク論	School Social Work Theory	一般科目	必修	講義	2	30	30		今日の学校教育現場にスクールソーシャルワーカーを導入する意義とその必要性を理解する。
	滋慶選択科目	Elective Subjects	一般科目	選択	講義	1	15			多分野の知識・技術を習得するとともに、専門性を超えた交流の輪を広げ、人間性を豊かにすることにつなげる。
専門科目	社会福祉の原理と政策	Social Welfare Principles and Policies	社会精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	社会福祉の原理や歴史、思想・哲学・理論の学びをふまえ、現代における社会問題とその構造的背景を理解する。あわせて福祉政策の基本的な視点をふまえ、福祉政策のニーズや資源、構成要素と過程を理解するとともに、福祉政策の動向と課題と国際比較、関連施策、サービスの供給と利用過程を理解する。
	刑事司法と福祉	Criminal Justice and Welfare	社会精神指定科目	必修	講義	2	30	30		刑事司法の近年の動向と制度の仕組み、刑事司法に関する社会福祉士及び精神保健福祉士の役割や関係機関の役割について理解する。
	地域福祉と包括的支援体制	Community Welfare and Comprehensive Support System	社会精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向、住民の主体形成の概念を理解するとともに、地域福祉を推進するための福祉行政の実施体制と果たす役割、地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。あわせて包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際について理解するとともに、地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解する。
	ソーシャルワークの基盤と専門職	Social Work Basics and Specialization	社会精神指定科目	必修	講義	2	30	30		社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ、ソーシャルワークの概念や基盤となる考え方、形成過程や倫理について理解する。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門科目	ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)	Social Work Theory and Methods (MHSW Specialized)	精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を学ぶ。また、精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。そして、精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。
	精神保健福祉制度論	Mental health Welfare System Theory	精神指定科目	必修	講義	2	30	30		精神障害者に関する法制度の体系について学ぶ。精神保健福祉法、医療観察法等の医療に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。そして、生活支援に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。
	ソーシャルワーク演習(精神専門) I	Practice for Social Work (MHSW Specialized) I	精神指定科目	必修	演習	2	60	30	30	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。また、精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための関係機関や職種の役割を理解し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。
	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	Social Work Basics and Specialization (Specialized)	社会指定科目	必修	講義	2	30	30		ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を理解するとともに、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークや総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容を理解する。
	ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)	Social Work Theory and Methods (SW Specialized)	社会指定科目	必修	講義	4	60	30	30	ソーシャルワークにおける援助関係の形成、社会資源の活用・調整・開発、ネットワークの形成について理解するとともに、ソーシャルワークに関連する方法、カンファレンス、事例分析について学ぶとともに、ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の重要性を理解する。
	ソーシャルワーク演習(社会専門) I	Practice for Social Work (SW Specialized) I	社会指定科目	必修	演習	2	60	30	30	社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解するとともに、地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。
			必修科目 総単位数 (42)						必修科目 総時間数 (870)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2023年度 教科課程

社会福祉科

3年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般 科目	卒業研究 I	Graduation Research I	一般 科目	必修	演習	8	240	120	120	自ら選んだテーマに沿って研究・開発・制作を行い、そのテーマに対する客観的な事実から問題を探索し、自らの考え方や見解をまとめる。
	ソーシャルワーク特別演習 II	Social Work Developmental Exercise II	一般 科目	必修	演習	1	30	30		自身のキャリアプランにおいてソーシャルワーク技術を実践するとともに、国家試験対策を対策を通して、知識を体系的に確認する。
専門 科目	医学概論	Introduction to Medicine	社会 精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について、人の身体構造と心身機能、健康・疾病の捉え方、疾病と障害の成り立ちや回復過程、公衆衛生の観点から理解する。
	社会学と社会システム	Sociology and Social Systems	社会 精神 指定 科目	必修	講義	2	30		30	生活の多様性や人と社会の関係、社会問題とその背景について理解し、現代社会の特性を理解する。
	社会福祉調査の基礎	Basics of Social Welfare Survey	社会 精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		社会調査の意義と目的、調査における倫理と個人情報保護について理解した上で、質的研究、量的研究を含めた調査のデザインやソーシャルワークにおける評価について理解する。
	社会保障	Social Security	社会 精神 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	現代社会における社会保障制度の現状、概念や対象及びその理念を理解したうえで、社会保障の財源、各種保険制度、諸外国の社会保障制度を理解する。
	福祉サービスの組織と経営	Organization and Management of Welfare Services	社会 指定 科目	必修	講義	2	30	30		福祉サービスを提供する組織や団体の概要と役割、組織と運営に係る基礎理論を理解した上で、組織の経営と実際、福祉人材マネジメントについて理解する。
	保健医療と福祉	Insurance Medical Care and Welfare	社会 指定 科目	必修	講義	2	30	30		保健医療の動向、政策・制度・サービスの概要、倫理を理解するとともに、保健医療領域における専門職の役割と連携、支援の実際を理解する。
	ソーシャルワーク演習（社会専門）II	Practice for Social Work (SW Specialized) II	社会 指定 科目	必修	演習	2	60	30	30	ミクロ・メソ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。あわせて実習を通じて体験した事例について、事例検討や事例研究を実際に行い、その意義や方法を具体的に理解するとともに、実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。
	ソーシャルワーク実習指導（社会）	Seminar for Field Education in Social Work (SW)	社会 指定 科目	必修	演習	3	90		90	ソーシャルワーク実習の意義について理解するとともに、社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。あわせてソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得するとともに、実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。
	ソーシャルワーク実習（社会）	Field Education in Social Work (SW)	社会 指定 科目	必修	実習	5	240		240	ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養う。
			必修科目 総単位数 (33)						必修科目 総時間数 (870)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2023年度 教科課程

社会福祉科

4 年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般 科目	ソーシャルワーク特 別演習Ⅱ	Social Work developmental Exercise	一般 科目	必修	演習	13	390	150	※ 240	卒業研究においてソーシャルワ ーク技術を実践するとともに、国家 試験対策を通して、知識を体系的 に確認する。
専門 科目	社会理論と社会シ ステム	Social theory and systems	共通 科目	必修	講義	2	30	30		社会理論による現代社会の捉え方 や生活及び人と社会の関係等につ いて理解する。
	福祉行財政と福祉計 画	Social Welfare Administratio n and Planning	共通 科目	必修	講義	2	30	30		福祉の行財政の実施体制等（国・ 都道府県・市町村の役割、国と地 方の関係、財源、組織及び団体、 専門職の理解を含む）について理 解する。
	低所得者に対する支 援と生活保護制度	Assistance to Low income earner and Public security system	共通 科目	必修	講義	2	30	30		低所得階層の生活実態とこれを取 り巻く社会情勢、福祉の需要とそ の実態等について理解する。
	権利擁護と成年後見 制度	Protection of Human Rights and Adult Guardianship	共通 科目	必修	講義	2	30	30		相談援助活動と法（日本国憲法の 基本原理、民法、行政法の理解を 含む）との関わりや成年後見制度 等について理解する。
	精神保健福祉援助実 習指導	Seminar for Field Education in MentalHealth Social Work	精神 指定 科目	選択 必修	演習	3	90	90		実習施設に関する理解を深め、必要な知識・ 技術・法令等遵守について確認するととも に、現場で踏まえた体験を評価・総括し経験 化できるようにする。 ※本科目選択者は、「精神保健福祉援助実 習」も併せて履修する
	ソーシャルワーク 応用実習指導	Preparatory Class for Advanced Field Education in Social Work	指定 外 科目		演習	3	90	90		ソーシャルワーク応用実習に取り組む目標設 定と事後学習を通して、知識・技術の定着が できるようにする。 ※本科目選択者は、「ソーシャルワーク応用 実習」も併せて履修する
	精神保健福祉援助実 習	Field Education in MentalHealth Social Work	精神 指定 科目	選択 必修	実習	4	210	210		精神保健福祉士としての倫理観を尊重し、専 門知識及び技術について医療機関・福祉施設 等での実習を学び、自ら実践することで精神 保健福祉士の意義・役割について理解する。 ※本科目選択者は、「精神保健福祉援助実習 指導」も併せて履修する
	ソーシャルワーク応 用実習	Advanced Field Education in Social Work	指定 外 科目		実習	4	210	210		福祉施設における実習を通して、ソーシャル ワーク技術の実践力を高める。 ※本科目選択者は、「ソーシャルワーク応用 実習指導」も併せて履修する
	社会調査の基礎	Basic Social Research	社会 指定 科目	必修	講義	2	30	30		社会福祉士に必要な社会調査に関 する知識を学ぶ。

区分	開講科目名	English	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
							前期	後期	
専門 科目	社会調査の基礎	Basic Social Research	必修	講義	2	30	30		社会調査の意義と目的及び方法の概要等について理解する。
	相談援助の基盤と専門職	Social Work Basics and Specialization	必修	講義	4	60	60		社会福祉士の役割(総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む)と意義等について理解する。
	相談援助の理論と方法	Social Work Theory and Methods	必修	講義	8	120	60	60	相談援助における人と環境との相互作用に関する理論等について理解する。
	福祉サービスの組織と経営	Organization and Management of Welfare Services	必修	講義	2	30		30	福祉サービスに係る組織や団体等(社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など)について理解する。
	高齢者に対する支援と介護保険制度	Assistance to Elderly and Long-term Care Insurance System	必修	講義	4	60		60	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要等(高齢者虐待や地域移行、就労の実態を含む)について理解する。
	児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度	Child and Home Support, Child and Family Welfare System	必修	講義	2	30		30	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要(子育て、一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力(DV)の実態を含む)について理解する。
	就労支援サービス	Employment Assistance Services	必修	講義	1	15		15	相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度等について理解する。
	更生保護制度	Shelter and Rehabilitation Systems	必修	講義	1	15		15	相談援助活動において必要となる更生保護制度等について理解する。
	相談援助演習	Practice for Social Work	必修	演習	5	150	90	60	相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術等について理解する。
	相談援助実習指導	Seminar for Field Education in Social Work	必修	演習	3	90	45	45	相談援助実習の意義や相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。
	相談援助実習	Field Education in Social Work	必修	実習	4	180		180	相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。
									総時間数 (1 2 6 0)

※「現場体験プログラム」は6段階評価の対象外科目であり、評価はS(合格)、またはU(不合格)とします。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門 科目	精神保健福祉援助演習（専門）Ⅱ	Practice for mental health Social Work (Specialized)	精神 指定 科目	必修	演習	1	30	30		精神保健福祉援助技術の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。
			必修科目・選択必修科目 総単位数 (31)							必修科目・選択必修科目 総時間数 (870)

（履修科目の下限と上限） 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

【標準年次別時間数・単位数】

1年次	810時間/45単位
2年次	870時間/42単位
3年次	930時間/41単位
4年次	870時間/31単位

2023年度 教科課程

心理カウンセラー科

1 年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般 科目	キャリアプラン ニング	Career Planning	一般 科目	必修	講義	4	60	30	30	自らの目指す職業像に近づくための知識、スキルを高めると共に、課題と対策を自ら考え成長へと繋げる姿勢を身につける。
	文章表現	Basic Writing Skills	一般 科目	必修	講義	2	30	30		分かりやすく明確な文章を書くための文章表現力を身につける。
	チャレンジプログラム指導	Seminar for Challenge Program	一般 科目	必修	演習	2	60	30	30	チャレンジプログラムに向けて実習施設に関する理解を深め、必要な知識・技術・法令等遵守について確認する。
	チャレンジプログラム	Challenge Program	一般 科目	必修	演習	5	150		150	さまざまな方を支援するための基盤となるコミュニケーション力を身につける。
	情報リテラシー I	IT Literacy I	一般 科目	必修	演習	2	60	30	30	社会人または対人援助職にとって必要な情報を正しく扱う知識や姿勢を身につける。
	ソーシャルワーク特別演習 I	Social Work Developmental Exercise I	一般 科目	必修	演習	2	60	30	30	対人援助職としての心と身体作り、また協調協同の姿勢を学ぶ。
	カウンセリングの基礎	Basic for Counseling	一般 科目	必修	演習	1	30		30	心の支援者としての身構え・心構えを学び、相談を受ける最低限の知識・技術を身につける。
専門 科目	滋慶選択科目	Elective SubjectS	一般 科目	選択	講義	1	15	15		多分野の知識・技術を習得するとともに、専門性を越えた交流の輪を広げ、人間性を豊かにすることにつなげる。
	医学概論Ⅰ Literacy I	Introduction to Medicine	精神指 定科目	必修	講義	2	30	30		人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について、人の身体構造と心身機能、健康・疾病の捉え方、疾病と障害の成り立ちや回復過程、公衆衛生の観点から理解する。
	障害者福祉	Support for the Challenged Person	精神指 定科目	必修	講義	2	30		30	障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程を踏まえ、障害者に対する法制度と支援の仕組み、障害の概念と特性、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。また、障害による生活課題を踏まえた社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。
	ソーシャルワークの基盤と専門職	Social Work Basics and Specialization	精神指 定科目	必修	講義	2	30	30		社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ、ソーシャルワークの概念や基盤となる考え方、形成過程や倫理について理解する。
	ソーシャルワークの理論と方法	Social Work Theory and Methods	精神指 定科目	必修	講義	4	60	30	30	人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メソ・マクロレベルにおけるソーシャルワークと、ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解するとともに、ソーシャルワークの過程、記録、ケアマネジメント、集団を活用した支援、コミュニティワーク、スーパービジョンとコンサルテーションについて理解する。
専門 科目	ソーシャルワーク演習	practice for Social Work	精神指 定科目	必修	演習	1	30		30	ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解するとともに、ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力、ソーシャルワークの展開過程において用いられる、知識と技術を実践的に理解する。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門 科目	精神保健福祉の原理	Principles of Mental Health Welfare	精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。また、精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。
	精神障害リハビリテーション論	Theory of Mental Disorder Rehabilitation	精神指定科目	必修	講義	2	30		30	精神障害リハビリテーションの概念とプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解し、援助場面で活用できる。そして、精神障害リハビリテーションプログラムの知識を援助場面で活用できる。
	公認心理師の職責	Professionalism of Licensed Psychologists	心理指定科目	必修	講義	2	30	30		公認心理師の法的義務・倫理を学び、多職種連携や地域連携の重要性を理解する。
	心理学概論	Introduction to Psychology	心理指定科目	必修	講義	4	60	30	30	心理学の成り立ちや人の心の基本的な仕組み及び働きを理解する。
	臨床心理学概論	Introduction to Clinical Psychology	心理指定科目	必修	講義	2	30		30	臨床心理学の成り立ちや臨床心理学の代表的な理論を理解する。
	学習・言語心理学	Psychology of Learning and Language	心理指定科目	必修	講義	2	30	30		人の行動が変化する過程や言語の習得における機序を理解する。
	発達心理学	Developmental Psychology	心理指定科目	必修	講義	2	30		30	認知機能の発達及び感情・社会性の発達や自己と他者の関係の在り方と心理的発達について理解する。
	心理学的支援法	Methods of Psychological Support	心理指定科目	必修	講義	2	30		30	代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界を学ぶ。
			必修科目 総単位数 (49)							必修科目 総時間数 (930)

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2023年度 教科課程

心理カウンセラー科

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般科目	地域連携 プログラム指導	Preparatory Class for Field Education Programs	一般 科目	必修	演習	2	60	30	30	地域連携プログラムや学校行事等 に関連した準備や振り返りを行う とともに、そのプロセスにおいて 既習内容と関連させる。
	地域連携 プログラム	Field Education Programs in Cooperation with Community Resources	一般 科目	必修	演習	8	240	120	120	地域の施設で年間を通して実習を 行うとともに、様々な団体等と連 携し地域・社会の課題を解決する 方法を身につける。
	情報リテラシー Ⅱ	IT literacyⅡ	一般 科目	必修	演習	2	60	30	30	社会人または対人援助職にとって 必要な情報を正しく扱う知識・技 術を身につける。
	スクールソー シャルワーク論	Theory of School Social Work	一般 科目	必修	講義	2	30	30		今日の学校教育現場にスクール ソーシャルワーカーを導入する意 義とその必要性を理解する。
	滋慶選択科目	Elective Subjects	一般 科目	選択	講義	1	15			多分野の知識・技術を習得すると ともに、専門性を越えた交流の輪 を広げ、人間性を豊かにすること につなげる。
専門科目	心理学と心理的 支援	psychology and Psychological support	精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		人の心の基本的な仕組みと機能や人の成長・発 達段階に特有の心理的課題を理解するととも に、日常生活と心の健康との関係、環境との相 互作用の中で生じる心理的反応、心理学の理論 を基礎としたアセスメントの方法と支援を理解 する。
	社会福祉の原理 と政策	Social Welfare Principles and Policies	精神 指定 科目	必修	講義	4	60		30	社会福祉の原理や歴史、思想・哲学・理論の学 びをふまえ、現代における社会問題とその構 造的な背景を理解する。あわせて福祉政策の基 本的な視点をふまえ、福祉政策のニーズや資源、構 成要素と過程を理解するとともに、福祉政策の動 向と課題と国際比較、関連施策、サービスの供 給と利用過程を理解する。
	刑事司法と福祉	Criminal Justice and Welfare	精神 指定 科目	必修	講義	2	30		30	刑事司法の近年の動向と制度の仕組み、刑事司 法に関する社会福祉士及び精神保健福祉士の役 割や関係機関の役割について理解する。
	地域福祉と包括 的支援体制	Community Welfare and Comprehensive Support System	精神 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向、住民 の主体形成の概念を理解するとともに、地域福 祉を推進するための福祉行政の実施体制と果 たす役割、地域福祉計画をはじめとした福祉計 画の意義・目的及び展開を理解する。あわせて 包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関 協働の意義と実際について理解するとともに、 地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支 援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士 の役割を理解する。
	ソーシャルワー クの基盤と専門 職	Social Work Basics and Specialization	精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づ け、ソーシャルワークの概念や基盤となる考え 方、形成過程や倫理について理解する。
	ソーシャルワー クの理論と方法 (精神専門)	Social Work Theory and Methods (MHSW Specialized)	精神 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対 するソーシャルワークの過程を学ぶ。また、精 神医療、精神障害者福祉における多職種連携・ 多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割に ついて理解する。そして、精神保健福祉士と所 属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介 入・組織活動の展開 に関する概念と方法につ いて理解する。

	精神保健福祉制度論	Mental health Welfare System Theory	精神指定科目	必修	講義	2	30	30	精神障害者に関する法制度の体系について学ぶ。精神保健福祉法、医療観察法等の医療に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。そして、生活支援に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。
--	-----------	-------------------------------------	--------	----	----	---	----	----	---

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数			科目概要
								前期	後期	
専門科目	ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）	Social Work Theory and Methods (MHSW Specialized)	精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を学ぶ。また、精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。そして、精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。
	ソーシャルワーク演習（精神専門）Ⅰ	Practice for Social Work (MHSW Specialized) I	精神指定科目	必修	演習	2	60	30	30	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようにする。また、精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための関係機関や職種の役割を理解し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。
	心理学研究法	Psychological Research Methods	心理指定科目	必修	講義	4	60	30	30	心理学における実証的研究法（量的研究及び質的研究）、データを用いた実証的な思考方法、研究における倫理を理解する。
	心理学統計法	Psychological Statistics	心理指定科目	必修	講義	4	60	30	30	心理学で用いられる統計手法と統計に関する基礎的な知識を理解する。
	感情・人格心理学	Psychology of Emotion and Personality	心理指定科目	必修	講義	2	30		30	感情に関する理論及び感情喚起の仕組みと、感情が行動に及ぼす影響等を理解する。
	福祉心理学	Psychology for Social Welfare	心理指定科目	必修	講義	2	30	30		福祉現場において生じる問題及びその背景、福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援、虐待について理解する。
	教育・学校心理学	Educational and School Psychology	心理指定科目	必修	講義	2	30		30	教育現場において生じる問題及びその背景、教育現場における心理社会的課題及び必要な支援を理解する。
			必修科目 総単位数 (50)						必修科目 総時間数 (960)	

（履修科目の下限と上限） １年間に履修する授業科目は、３０単位以上６０単位未満とする

2023年度 教科課程

心理カウンセラー科

3年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般 科目	卒業研究Ⅰ	Graduation Research I	一般 科目	必修	演習	8	240	120	120	自ら選んだテーマに沿って研究・開発・制作を行い、そのテーマに対する客観的な事実から問題を探求し、自らの考え方や見解をまとめる。
	ソーシャルワーク特別演習Ⅱ	Social Work developmental Exercise II	一般 科目	必修	演習	1	30		30	自身のキャリアプランにおいてソーシャルワーク技術を実践するとともに、国家試験対策を対策を通して、知識を体系的に確認する。
専門 科目	社会保障	Social Security	精神 指定 科目	必修	講義	4	60	30	30	現代社会における社会保障制度の課題等（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む）について理解する。
	医学概論	Introduction to Medicine	精神 心理 指定 科目	必修	講義	2	30	30		人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について、人の身体構造と心身機能、健康・疾病の捉え方、疾病と障害の成り立ちや回復過程、公衆衛生の観点から理解する。
	社会学と社会システム	Sociology and Social Systems	精神 指定 科目	必修	講義	2	30		30	生活の多様性や人と社会の関係、社会問題とその背景について理解し、現代社会の特性を理解する。
	社会福祉調査の基礎	Basics of Social Welfare Survey	精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		社会調査の意義と目的、調査における倫理と個人情報保護について理解した上で、質的研究、量的研究を含めた調査のデザインやソーシャルワークにおける評価について理解する。
	知覚・認知心理学	Perception and Cognitive Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	2	30	30		人の感覚・知覚等の機序及びその障害や人の認知・思考等の機序及びその障害を理解する。
	神経・生理心理学	Nerves and Physiological Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	2	30		30	脳神経の構造及び機能や記憶、感情等の生理学的反応の機序、高次脳機能障害の概要を理解する。
	健康・医療心理学	Health and Medical Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	2	30	30		ストレスと心身の疾病との関係や心理社会的課題及び災害時等の支援を理解する。
	司法・犯罪心理学	Forensic and Criminal Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	2	30		30	犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識やそれらの問題に対して必要な心理に関する支援について理解する。
	心理学実験	Psychological Experiments	心理 指定 科目	必修	講義	2	30	30		心理学の実験の計画立案や統計に関する基礎的な知識について理解すると共に客観的に物事をみる視点を身につける。
	社会・集団・家族心理学	Social, Group and Family Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	2	30		30	対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程が社会や集団、個人に及ぼす影響について理解する。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門科目	障害者（児）心理学	Psychology for Adults & Children with Disabilities	心理指定科目	必修	講義	2	30	30		身体障害、知的障害及び精神障害の概要や障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援について理解する。
	心理的アセスメント	Psychological Assessment	心理指定科目	必修	講義	4	60	30	30	心理的アセスメントの目的及び倫理や方法（観察、面接及び心理検査）を学び、適切な記録及び報告について理解する。
	心理演習	Seminar in Psychology	心理指定科目	必修	演習	2	60	30	30	心理療法についての知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、役割演技（ロールプレイング）を行、支援者としての技術を取得する。
	心理実習	Practical Training in Psychology	心理指定科目	必修	実習	1	80	80		当該施設の実習指導者又は実習担当教員による指導を受けながら、チームアプローチ、多職種連携及び地域連携等を理解する。
			必修科目 総単位数（40）						必修科目 総時間数（830）	

（履修科目の下限と上限） １年間に履修する授業科目は、３０単位以上６０単位未満とする

2023年度 教科課程

心理カウンセラー科

4年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般 科目	ソーシャルワーク特別演習Ⅱ	Social Work Developmental Exercise	一般 科目	必修	演習	12	360	60	300	卒業研究や国家試験対策を通して、ソーシャルワーク技術を実践するとともに、その知識を体系的に理解する。
専門 科目	社会理論と社会システム	Social Theory and Systems	精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		社会理論による現代社会の捉え方や生活及び人と社会の関係等について理解する。
	福祉行財政と福祉計画	Social Welfare Administration and Planning	精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		福祉の行財政の実施体制等(国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の理解を含む)について理解する。
	低所得者に対する支援と生活保護制度	Assistance to Low income earner and Public security Systems	精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉の需要とその実態等について理解する。
	権利擁護と成年後見制度	Protection of Human Rights and Adult Guardianship	精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		相談援助活動と法(日本国憲法の基本原理、民法、行政法の理解を含む)との関わりや青年後見制度等について理解する。
	精神保健福祉援助実習指導	Seminar for Field Education in Mental Health Social Work	精神 指定 科目	選択 必修	演習	3	90	90		実習オリエンテーション等を通じて具体的な体験や援助活動を専門職としての自覚に基づいた行動ができるようにする。 ※「ソーシャルワーク応用実習指導」との2択。本科目を履修した場合、併せて「精神保健福祉援助実習」を履修
	ソーシャルワーク応用実習指導	Preparatory Class for Advanced Field Education in Social Work	指定 外 科目		演習	3	90	90		ソーシャルワーク応用実習に取り組む目標設定と事後学習を通して、知識・秘術の定着ができるようにする。 ※「精神保健福祉援助実習指導」との2択。本科目を履修した場合、併せて「精神保健福祉援助実習」を履修
	精神保健福祉援助実習	Field Education in Mental Health Social Work	精神 指定 科目		実習	4	210	210		精神障害者に対する相談援助及びリハビリテーションについて必要な資質・能力・技術を習得する。 ※「ソーシャルワーク応用実習」との2択。本科目を履修した場合、併せて「精神保健福祉援助実習指導」を履修
	ソーシャルワーク応用実習	Advanced Field Education in Social Work	指定 外 科目	選択 必修	実習	4	210	210		福祉施設における実習を通して、ソーシャルワーク技術の実践力を高める。 ※「精神保健福祉援助実習」との2択。本科目を履修した場合、併せて「精神保健福祉援助実習指導」を履修
	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ	Practice for mental health Social Work (Specialized)	精神 指定 科目	必修	演習	1	15	15		精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術について、実践的に習得する。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門 科目	産業・組織心理 学	Industrial and Organizational Psychology	心理 指定 科目	必修	講義	2	30	30		職場における問題(キャリア形成に関 することを含む)に対して必要な心理 に関する支援について理解する。
	関係行政論	Legal and Administrative Systems	心理 指定 科目	必修	講義	2	30	30		保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、 産業・労働分野における制度や課題を 理解する。
			必修科目・必修選択科目 総単位数 (32)							必修科目・必修選択科目 総時間数 (855)

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

【標準年次別時間数・単位数】

1年次	810時間/46単位
2年次	975時間/51単位
3年次	920時間/45単位
4年次	855時間/32単位

2023年度 教科課程

IT医療ソーシャルワーカー科

1年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般 科目	キャリアプラン ニング1	Career Planning1	一般	必修	講義	1	15	15	0	養成目的や教育目標、1年次の到達目標、科目間のつながりを理解し、主体的に学習、他者と協働して学ぶきっかけとする。
	キャリアプラン ニング2	Career Planning2	一般	必修	講義	4	60	30	30	1年次の到達目標や科目間のつながりを理解するとともに、主体的な姿勢で学習するために必要な習慣やLMSの活用方法、他者と協働して学ぶための基盤となるスキル、職業観や勤労観などを含めた自らのキャリア構築の視点などを身につける。
	チャレンジプロ グラム1	Seminar for Challenge Program1	一般	必修	講義	1	15	15	0	地域や社会の様々な資源の見学や体験、講演やディスカッション等を通して、地域社会の実際やITを活用して目指す未来、解決すべき社会課題についての理解を深める。
	チャレンジプロ グラム2	Seminar for Challenge Program2	一般	必修	演習	8	240	120	120	地域や社会の様々な資源の見学や体験、講演やディスカッション等を通して、地域社会の実際やITを活用して目指す未来、解決すべき社会課題についての理解を深める。
専門 科目	統計の基礎	The basics of Statistics	IT 専門	必修	講義	2	30		30	データサイエンスの基礎的な概念を理解するとともに、情報技術やAIを学ぶために必要な統計の基礎的な知識について理解する。
	AI利活用入門	Introduction to AI Utilization	IT 専門	必修	講義	2	30	30		AI開発・研究の歴史や、AIの機能や分類の基本を理解するとともに、AIが社会の中でどのように利用されているか、また利用が目指されているかを理解する。
	AIの基礎	The basics of AI	IT 専門	必修	演習	1	30		30	AIに関連する基礎概念や用語を理解するとともに、GUIツールを活用し実際にAIを構築することでAIの作り方を理解する。
	情報リテラシー	IT Literacy	IT 専門	必修	演習	2	60	30	30	情報活用能力を養うために、必要な情報を集め、整理し、発信できるスキルを理解する。
	情報テクノロジー 概論	Outline of Information Technology	IT 専門	必修	講義	2	30	30		オペレーティング・システム、プログラム、データベース、ネットワークの基礎を学ぶ。
	情報テクノロジー 演習1	Practice for Information Technology1	IT 専門	必修	演習	1	30	30		オペレーティング・システム、プログラム、データベース、ネットワークについて、演習を通して理解を深める。
	情報テクノロジー 演習2	Practice for Information Technology2	IT 専門	必修	演習	2	60		60	ハードウェア・ネットワークの構築を学ぶとともに、コンピュータをネットワークをつなぎ、IoTの概念を学ぶ。
	児童・家庭福祉	Child and Family Welfare	社会 専門	必修	講義	2	30		30	児童・家庭福祉の定義、児童の権利、歴史や法制度を理解した上で、児童・家庭に対する支援における関係機関と専門職の役割、支援の実際を理解する。
	貧困に対する支援	Support for Poverty	社会 専門	必修	講義	2	30		30	貧困の歴史と貧困親の変遷について理解した上で、貧困や公的扶助の概念をふまえ、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境、貧困に係る法制度と支援の仕組み、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。
	ソーシャルワーク の基盤と専門職	Social Work Basics and Specialization	社会 専門	必修	講義	2	30	30		社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ、ソーシャルワークの概念や基盤となる考え方、形成過程や倫理について理解する。

ソーシャルワーク の基盤と専門職 (専門)	Social Work Basics and Specialization(Specialized)	社会 専門	必修	講義	2	30		30	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を 理解するとともに、ミクロ・メゾ・マクロレベ ルにおけるソーシャルワークや総合的かつ包括 的な支援と多職種連携の意義と内容を理解す る。
ソーシャルワーク の理論と方法	Social Work Theory and Methods	社会 専門	必修	講義	4	60	30	30	人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・ メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワ ークと、ソーシャルワークの様々な実践モデルと アプローチについて理解するとともに、ソー シャルワークの過程、記録、ケアマネジメン ト、集団を活用した支援、コミュニティワ ーク、スーパービジョンとコンサルテーションに ついて理解する。
ソーシャルワーク 演習	Practice for Social Work	社会 専門	必修	演習	1	30	30		ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に 理解するとともに、ソーシャルワークの実践に 必要なコミュニケーション能力、ソーシャル ワークの展開過程において用いられる、知識 と技術を実践的に理解する。

開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
							前期	後期	
社会福祉の原理と政策	Social Welfare Principles and Policies-1	社会専門	必修	講義	2	30	30		社会福祉の原理や歴史、思想・哲学・理論の学びをふまえ、現代における社会問題とその構造的背景を理解する。
ソーシャルワーク演習(社会専門) I	Practice for Social Work(SW Specialized) I-1	社会専門	必修	演習	1	30		30	社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。
地域福祉と包括的支援体制	Community Welfare and Comprehensive Support System-1	社会専門	必修	講義	2	30	30		地域福祉の基本的な考え方、展開、動向、住民の主体形成の概念を理解するとともに、地域福祉を推進するための福祉行財政の実施体制と果たす役割、地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。
			必修科目 総単位数 (46)					必修科目 総時間数 (930)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2023年度 教科課程

IT医療ソーシャルワーカー科

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般 科目	キャリアプランニング2	Career Planning2		必修	講義	4	60	30	30	2年次の到達目標や科目間のつながりを理解するとともに、資格試験合格に向けた学習を通して、自身の特性、習得度などを客観的に把握しつつ、計画を立て学習するスキルを身につける。また、プレゼンテーションのスキルを高め、学習内容を発信する力を身につける。
	チャレンジプログラム2	Seminar for Challenge Program2		必修	演習	8	240	120	120	ソーシャルワークの対象となる多様な人の日常生活や就労の実際について、本人とのコミュニケーションを通して理解するとともに、ITを活用した課題解決の可能性についての視点についての理解を深める。
専門 科目	情報テクノロジー演習2			必修	演習	2	60	30	30	ハードウェア・ネットワークの構築を学ぶとともに、コンピュータをネットワークをつなぎ、IoTの概念を学ぶ。
	システムサービスマネジメント			必修	講義	2	30		30	顧客のニーズに合致した適切なITサービスを提供するための、マネジメントの全体像や具体的な業務を学ぶ。
	AIの基礎			必修	演習	1	30	30		AIに関連する基礎概念や用語を理解するとともに、GUIツールを活用し実際にAIを構築することでAIの作り方を理解する。
	社会福祉の原理と政策-1	Social Welfare Principles and Policies		必修	講義	2	30		30	社会福祉の原理や歴史、思想・哲学・理論の学びをふまえ、現代における社会問題とその構造的背景を理解する。
	ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)	Social Work Theory and Methods (SW Specialized)		必修	講義	4	60	30	30	ソーシャルワークにおける援助関係の形成、社会資源の活用・調整・開発、ネットワークの形成について理解するとともに、ソーシャルワークに関連する方法、カンファレンス、事例分析について学部とともに、ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実践を理解する。
	児童・家庭福祉	Child and Family Welfare		必修	講義	2	30	30		児童・家庭福祉の定義、児童の権利、歴史や法制度を理解した上で、児童・家庭に対する支援における関係機関と専門職の役割、支援の実践を理解する。
	貧困に対する支援	Support for Poverty		必修	講義	2	30	30		貧困の歴史と貧困観の変遷について理解した上で、貧困や公的扶助の概念をふまえ、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境、貧困に係る法制度と支援の仕組み、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。
	ソーシャルワーク演習(社会専門)Ⅰ-2	Practice for Social Work (SW Specialized) I		必修	演習	1	30	30		支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解するとともに、地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。
	ソーシャルワーク演習(社会専門)Ⅱ-1	Practice for Social Work (SW Specialized) II		必修	演習	1	30		30	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。

開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
							前期	後期	
ソーシャルワーク実習 指導（社会）-1			必修	演習	2	60		60	ソーシャルワーク実習の意義について理解するとともに、社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。
ソーシャルワーク実習 （社会）-1			必修	実習	4	180		180	ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養う。
			必修科目 総単位数（35）						必修科目 総時間数（870）

（履修科目の下限と上限） 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2023年度 教科課程

社会福祉士一般養成科

1年

区分	開講科目名	English	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
							前期	後期	
一般 科目	現場体験プログラム	Job practice program	必修	演習	2	60	60		社会福祉士が働く様々な現場での体験・見学を通して、対象者や仕事内容についての具体的なイメージを持つとともに、ソーシャルワーカーとしての視点を広げる。
	人体の構造と機能及び疾病	Human Body Structure, Function and Diseases	必修	講義	2	30		30	心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。
専門 基礎 科目	心理学理論と心理的支援	Psychological Theory and Support	必修	講義	2	30		30	心理学理論による人の理解とその技法の基礎や心理的支援の方法と実際について理解する。
	社会理論と社会システム	Social theory and systems	必修	講義	2	30		30	社会理論による現代社会の捉え方や生活及び人と社会の関係等について理解する。
	現代社会と福祉	Contemporary Society and Welfare	必修	講義	4	60	60		現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係等について理解する。
	地域福祉の理論と方法	Community welfare theory and methods	必修	講義	4	60	60		地域福祉の基本的考え方(人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包括等を含む)について理解する。
	福祉行財政と福祉計画	Social Welfare Administration and Planning	必修	講義	2	30		30	福祉の行財政の実施体制等(国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む)について理解する。
	社会保障	Social Security	必修	講義	4	60	60		現代社会における社会保障制度の課題等(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む)について理解する。
	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	Services and Supports for Persons with Disabilities Act	必修	講義	2	30		30	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要等(地域移行や就労の実態を含む)について理解する。
	低所得者に対する支援と生活保護制度	Assistance to Low income earner and Public security system	必修	講義	2	30	30		低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実態等について理解する。
	保健医療サービス	Theory of Health Care Services	必修	講義	2	30		30	相談援助活動において必要となる医療保険制度(診療報酬に関する内容を含む)や保健医療サービス等について理解する。
	権利擁護と成年後見制度	Protection of Human Rights and Adult Guardianship	必修	講義	2	30		30	相談援助活動と法(日本国憲法の基本原則、民法・行政法の理解を含む)との関わりや成年後見制度等について理解する。

区分	開講科目名	English	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
							前期	後期	
専門科目	社会調査の基礎	Basic Social Research	必修	講義	2	30	30		社会調査の意義と目的及び方法の概要等について理解する。
	相談援助の基盤と専門職	Social Work Basics and Specialization	必修	講義	4	60	60		社会福祉士の役割(総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む)と意義等について理解する。
	相談援助の理論と方法	Social Work Theory and Methods	必修	講義	8	120	60	60	相談援助における人と環境との相互作用に関する理論等について理解する。
	福祉サービスの組織と経営	Organization and Management of Welfare Services	必修	講義	2	30		30	福祉サービスに係る組織や団体等(社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など)について理解する。
	高齢者に対する支援と介護保険制度	Assistance to Elderly and Long-term Care Insurance System	必修	講義	4	60		60	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要等(高齢者虐待や地域移行、就労の実態を含む)について理解する。
	児童や家庭に対する支援と児童家庭福祉制度	Child and Home Support, Child and Family Welfare System	必修	講義	2	30		30	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要(子育て、一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力(DV)の実態を含む)について理解する。
	就労支援サービス	Employment Assistance Services	必修	講義	1	15		15	相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度等について理解する。
	更生保護制度	Shelter and Rehabilitation Systems	必修	講義	1	15		15	相談援助活動において必要となる更生保護制度等について理解する。
	相談援助演習	Practice for Social Work	必修	演習	5	150	90	60	相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術等について理解する。
	相談援助実習指導	Seminar for Field Education in Social Work	必修	演習	3	90	45	45	相談援助実習の意義や相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。
	相談援助実習	Field Education in Social Work	必修	実習	4	180		180	相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。
総時間数 (1 2 6 0)									

※「現場体験プログラム」は6段階評価の対象外科目であり、評価はS(合格)、またはU(不合格)とします。

2023年度 教科課程

介護福祉士科

1年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
人間と社会	人間の尊厳と自立	Human Dignity and Independence	専門	必修	講義	2	30	30		介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎となる能力を養うことができる。
	人間関係とコミュニケーションⅠ	Human Relations and Communication	専門	必修	講義	2	30	30		介護実践のために必要な人間の理解や、基礎的なコミュニケーション能力を養うことができる。
	地域共生学Ⅰ	Community Support Programs	専門	必修	講義	4	60	30	30	家族・福祉・衣食住に関する知識と技術を修得し、また心身及び生活の活性化を支援するアクティビティについて学ぶ。
介護	介護の基本Ⅰ	Basic Nursing Care	専門	必修	講義	4	60	60		介護の考え方の理解と介護の視点を身につけるための基礎的事項を理解することができる。
	介護の基本Ⅱ	Basic Nursing Care	専門	必修	講義	4	60		60	介護の考え方の理解と介護の視点を身につけるための基礎的事項を学習する。
	コミュニケーション技術Ⅰ	Communication Skills	専門	必修	講義	2	30		30	介護を必要とする者の理解や援助の関係、援助的コミュニケーションについて理解することができる。
	生活支援技術Ⅰ	Livelihood Support Skills	専門	必修	演習	6	180	90	90	適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識を習得する。
	介護過程Ⅰ	Nursing Care Process	専門	必修	講義	4	60	30	30	介護過程の展開、介護計画の立案し、適切な介護サービスの提供が出来る能力を養うことができる。
	介護総合演習Ⅰ	Guidance of nursing care skills	専門	必修	演習	4	124	30	94	実習教育充実のために、個別の学習到達状況に応じた、総合的な学習を行う。 ※一都集中
	介護実習Ⅰ	Practice for nursing care skills	専門	必修	実習	3	168		168	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から、様々な生活の場において個別ケアを理解する。
	介護実習Ⅱ（施設実習Ⅰ）	Practice for nursing care skills	専門	必修	実習	3	136		136	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から、様々な生活の場において個別ケアを理解する。
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	Human Development and Aging	専門	必修	講義	4	60	30	30	老化に関する心理や、身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得する。
	認知症の理解Ⅰ	Understanding Disabilities	専門	必修	講義	2	30		30	認知症に関する基礎的知識と、周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。
	こころとからだのしくみ	Mind-Body Connection	専門	必修	講義	8	120	60	60	人体の構造や機能、及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について学習する。
独自科目	介護福祉士総合講座Ⅰ	Preparation for a state examination	基礎	必修	講義	4	60	30	30	養成目的を見据え、介護福祉士としての視点を高める。
	介護みらいプログラムⅠ	Care future Program	専門	必修	講義	4	60	30	30	介護現場の「今」を知り「未来」を創造し対応する力を養う。
	介護福祉士総合講座Ⅱ	Preparation for a state examination	基礎	必修	講義	4	60	30	30	養成目的を見据え、介護福祉士としての視点を高める。
			総単位数（64）						総時間数（1328）	

（履修科目の下限と上限） 1年間に履修する授業科目は、47単位以上70単位未満とする

2023年度 教科課程

介護福祉士科

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
人間 と社会	社会の理解	Understanding Society	専門	必修	講義	4	60	30	30	人間の生活と社会の関わりや、自助から公助に至る過程について理解する。
	地域共生学Ⅱ	Understanding Society	専門	必修	演習	1	30	15	15	地域共生社会、地域包括ケアシステムについて理解し、その実現のための制度や施策について学ぶ。
	人間関係とコミュニケーションⅡ	Economics of living and welfare	専門	必修	講義	2	30		30	介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材の育成や活用などの人材管理など、チーム運営の基本を理解する。
介 護	介護の基本Ⅲ	Basic Nursing Care	専門	必修	講義	4	60	30	30	介護の考え方の理解と介護の視点を身につけるための基礎的事項を学習する。
	コミュニケーション技術Ⅱ	Communication Skills	専門	必修	講義	2	30	30		介護現場における、あらゆる場面のコミュニケーションを理解する。
	生活支援技術Ⅱ	Livelihood Support Skills	専門	必修	演習	2	60	60		適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識を習得する。
	生活支援技術Ⅲ (調理・家政)	Livelihood Support Skills (cooking housekeeping)	専門	必修	演習	2	60		60	家事の意義・目的を理解するとともに、自立に向けた家事援助技術を身につける。
	介護過程Ⅱ	Nursing Care Process	専門	必修	講義	6	90	60	30	介護過程の展開、介護計画の立案し、適切な介護サービスの提供が出来る能力を養う。
	介護総合演習Ⅱ	Guidance of nursing care skills	専門	必修	演習	1	30	15	15	実習教育充実のために、個別の学習到達状況に応じた、総合的な学習を行う。 ※集中
	介護実習Ⅱ (施設実習Ⅱ)	Practice for nursing care skills	専門	必修	実習	3	160	160		個々の生活リズムや個性を理解するという観点から、様々な生活の場において個別ケアを理解する。
こころとからだのしくみ	認知症の理解Ⅱ	Understanding Dementia	専門	必修	講義	2	30	30		認知症に関する基礎的知識と、周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。
	障害の理解	Understanding Disabilities	専門	必修	講義	4	60	30	30	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識と、周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。
医療的ケア	医療的ケア	Medical care	専門	必修	講義 演習	4	80	30	50	医療的ケアの基本概念を学び、理解する。介護福祉士ができる行為と医学の基本知識を確認する。 ※一部集中
独 自 科 目	介護福祉士総合講座Ⅲ	Preparation for a state examination	専門	必修	演習	2	60	30	30	養成目的を見据え、介護福祉士としての視点を高める
	介護みらいプログラムⅡ	Care future Program	専門	選択 必修	演習	2	60	30	30	介護業界の最新動向を知り、これからの介護現場に必要な知識・技術を身につける。
	国家試験対策	Preparation for a state examination	専門	必修	講義	6	100	60	40	国家試験に備え、これまでの復習を行い、介護福祉士に求められる知識を総合的に学ぶ。
	日本語能力試験対策講座Ⅱ	Japanese language training	基礎	選択	講義	4	60	30	30	(留学生対象) JLPT対策講座を行う。
			総単位数 (47) 外国人留学生 (51)				総時間数 (1000) 外国人留学生 総時間数 (1060)			

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、47単位以上70単位未満とする

2023年度 教科課程

作業療法士科昼間部

1年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
基礎科目	心理学	Psychology	基礎	必修	講義	2	30	30		人の心の基本的な仕組みについて理解し、人の心理を考える手がかりとなる知識と、科学的に心を解明する方法について学ぶ。
	基礎学習法A	Method of Basic learning A	基礎	必修	講義	2	30	30		自分の力で課題を発見し、主体的に自ら学び続けることができる習慣を身につける。様々な情報を客観的・批判的に取捨選択をして統合整理し、自分の考えを表現できる能力を身につける。主に文章課題について取り上げる。
	基礎学習法B	Method of Basic learning B	基礎	必修	講義	2	30		30	自分の力で課題を発見し、主体的に自ら学び続けることができる習慣を身につける。様々な情報を客観的・批判的に取捨選択をして統合整理し、自分の考えを表現できる能力を身につける。主に数学的課題について取り上げる。
	情報処理入門	Basic of Information Technology	基礎	必修	講義	2	30	30		コンピュータの仕組みを簡単に理解し、Word Excel などコンピュータソフト技能を身に付けるとともに、現代社会で必要なセキュリティについても学ぶ。
	人間関係論	Human Relations	基礎	必修	講義	2	30	30		良好な人間関係を築き、協働することができるコミュニケーション能力を身につける。カウンセリング理論を中心とした人間関係論や相互作用的リブズニングについて理解する。省察により自己理解を深めることによって、対話スキル、自己表現スキル、社会的スキルなどを身につける。
	人の生活と作業	Functioning in Living	基礎	必修	講義	2	30	30		人の生活を構成する要素について概観し、ICF(国際生活機能分類)が提示している内容を、実際の生活レベルで理解する。
	国際教育学	International Education	基礎	必修	講義	2	30		30	諸外国の福祉、医療の異文化理解を深め、国際化社会に対応できる能力を身につける。国際教育学の概要と目的について理解する。障害者に対する関わり方の理念を理解する。海外のリハビリテーション・作業療法について説明することができる。
専門基礎科目	基礎医学特論Ⅰ	Method of biochemistry I	専門基礎	必修	演習	2	60	30	30	解剖学と生理学の要点を理解し、人体の基本的な構造や機能の理解に応用する能力を身につける。特に骨・筋・神経を中心とした構造と機能について、循環器系、消化器系、泌尿器系、呼吸器系、中枢神経系等の働きについて理解・説明することができる。
	人間発達学	General Human Development	専門基礎	必修	講義	2	30		30	人間発達の基礎として、各段階における身体と運動機能の発達、知的・心理的・社会的発達、人格の発達を説明出来るようになる。
	解剖学	Anatomy	専門基礎	必修	講義	2	60	60		人体の構造を客観的に捉え、正確に記録・伝達するために必要な解剖学用語と記載法を学ぶ。人体の諸構造を系統的に整理し、機能との関連づけを通して、今後習得していく運動学、臨床医学を理解するに十分な解剖学的知識を習得する。特に骨学、筋学、神経系の構成について集中的に学び習得する。
	解剖学演習	Practice for Anatomy	専門基礎	必修	演習	1	30		30	解剖学で得られた骨・筋・神経の知識に加え、人体を構成する胸部・腹部の内臓、感覚器の基本的構造・形態・機能について説明出来るようになる。
	生理学	Physiology	専門基礎	必修	講義	2	60	60		人体の機能を客観的に捉え、正確に記録・伝達する能力を身につける。人体機能を記述する専門用語の内容を説明することができる。具体的には神経細胞、神経伝達、反射について説明できる。中枢神経系、筋と骨、感覚器の構造と機能、血液の組織と機能などを理解する。
	生理学演習	Practice for Physiology	専門基礎	必修	演習	1	30		30	生理学で得られた知識を深めるとともに、生体の反射調節・運動機構について説明出来るようになる。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門基礎科目	運動学	General Kinesiology	専門基礎	必修	講義	2	60	60		人間の身体運動を科学的に分析研究することにより得られた運動器の構造や機能、正常運動の特性について総論的に説明出来るようになる。
	運動学演習	Practice for General Kinesiology	専門基礎	必修	演習	1	30		30	解剖学や生理学および物理学の知識を基に、人間の身体運動を科学的に分析して理解する能力を身につける。運動器の構造や機能、正常運動の特性について体系的に理解する。具体的には生体力学の基礎及び生体の構造と機能について体系的に触れることで理解する。作業・動作及び姿勢の分析を実行することができる。
	一般臨床医学Ⅰ	Introduction to Clinical MedicineⅠ	専門基礎	必修	講義	2	30		30	医学とは何か、またどのように発展してきたか歴史と過程を学ぶ。また医療機関の特徴や、医療者として必要な心構えや標準予防策を実践するための知識を学ぶ。
	臨床心理学	Clinical Psychology	専門基礎	必修	演習	2	30		30	心理学の基礎知識、臨床心理学を学び、かつ心理的な対人援助の方法と実践について理解すること、医療・福祉の現場で人を心理的に支援する能力を身につける。日常生活における心の健康、知覚・学習・記憶・心理社会・発達などの基本概念、及び代表的な心理療法、心理検査について理解する。
	職業リハビリテーション	Rehabilitation for Profession	専門基礎	必修	講義	1	15		15	ICFにおける「生産活動」及び就労、仕事などに関わる概念を理解することで、就労支援と生活支援の意味を理解し、実際の地域活動に参加できる能力を身につける。心理社会的発達における生産性と世代性、キャリア形成論などを理解し、人にとって職業及び働くことの意味について様々な観点から理解を深める。
	社会福祉概論	Social Welfare	専門基礎	必修	講義	1	15	15		社会福祉の基本理念、その運動と歴史を学ぶことにより、多様な人々の生活と社会の力動性を理解した上で対象者に関与できる能力を身につける。社会保障論、障害者福祉論、社会福祉法制の基礎と社会福祉の機構について理解する。医療、自立支援、児童福祉、高齢者福祉等を包括する地域包括ケアシステムについてその重点を理解する。
	リハビリテーション概論	Introduction for Rehabilitation	専門基礎	必修	講義	1	15	15		リハビリテーションの理念、歴史、目的をはじめ医学的・社会的・職業的・教育的リハビリテーションを総合的に理解することにより、リハビリテーションにおける作業療法的位置について説明できるようになる。国際障害分類(ICIDH)と国際生活機能分類(ICF)の思想、個人モデルと社会モデルについて理解する。リハビリテーションの過程と諸相について理解する。
専門科目	作業療法理論	Theory for Occupational Therapy	専門	必修	講義	2	30	30		作業療法の起源や歴史、および定義や治療理論などを作業療法学としての学問的基礎知識と記録・報告などの基礎技法を学ぶとともに、作業療法を展開するうえで必要な作業療法理論とその周辺領域の理論について学ぶ。
	基礎作業学	Basic Theory and Practice for Occupational Therapy	専門	必修	講義	2	30	30		作業の概念を理解することで、作業療法が作業に基づく実践であることを多角的に説明する能力を身につける。作業の定義、作業の目的別区分(生産活動、遊び、セルフケア)について理解する。作業・活動分析の目的と形式を理解する。
	基礎作業学実習	Occupation Practice	専門	必修	実習	2	90		90	作業療法の治療手段であり目的でもある作業活動を行うことを通じて、その基礎的な知識と技術を習得する。作業活動の実践において協働や参加の意義を感得し表現する。作業・活動分析を実践に行うことができる。
	身体運動系評価学Ⅰ	Occupational Therapy Assessment for Physical FunctionⅠ	専門	必修	講義	1	30		30	主に成人における身体障害領域でのリハビリテーション評価全般と、一般的な作業療法評価について学ぶ。
	精神心理系評価学Ⅰ	Occupational Therapy Assessment for Mental FunctionⅠ	専門	必修	講義	1	30		30	主に精神障害領域でのリハビリテーション評価全般と、一般的な作業療法評価について学ぶ。
	日常生活活動学	Activity of Daily Living	専門	必修	講義	2	30	30		ICFにおける生活機能を概観し、日常でその生活機能に支障があった場合の改善策について理解し、工夫の方法を学ぶ。
	地域作業療法学Ⅰ	Occupational Therapy for Community-Based Rehabilitation	専門	必修	講義	2	30		30	地域における作業療法をとりまく医療・福祉の理念、サービス体系、推進方法などを学び、地域包括ケアの概念の中で作業療法士の果たす役割について理解する。

	臨床実習 I	Basic Clinical Fieldwork I	専門	必修	実習	1	45		45	作業療法士が実際に働いていたり必要とされる場面で、作業療法の目的や方法についてどのように実践しているか見学を主体にした実習を行う。
	臨床実習概論	Basic Clinical Fieldwork Overview	専門	必修	講義	1	45		45	3年間で行われる臨床実習について方法や手段を理解し、実習生として望まれる態度や知識について実際に行動して学習する。
その他	作業療法総合学習 I	Program for National Examination I	その他	必修	講義	2	60	30	30	これまでに受講した授業や臨床実習で学んだ内容の要点を整理し、作業療法全般の理解を深めるとともに、1年で学んだ基礎知識を確認することで、作業療法を系統的に理解する。専門基礎分野で学んだ知識(主に基礎医学的知識)の要点を確認し、総合的な学習経験と結びつける。毎回講義内容に即した学習課題を発行する。
			総単位数 (50)						総時間数 (1,095)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、50単位以上60単位未満とする

【標準年次別時間数・単位数】

1年次	1,095時間 / 50単位
2年次	1,050時間 / 41単位
3年次	1,200時間 / 33単位

※「国際教育学」は6段階評価の対象外科目であり、評価はS(合格)、またはU(不合格)とします。

2023年度 教科課程

作業療法士科昼間部

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門基礎科目	基礎医学特論Ⅱ	Method of biochemistryⅡ	専門基礎	必修	演習	2	60	30	30	臨床実習で必要となる上肢、下肢を中心とした人体の運動機能と、解剖生理学で学び得た基礎医学の知識を統合し理解を深める。特に上肢・下肢・脊柱の神経支配や運動機能、姿勢や運動学習等について理解・説明することができる。
	小児科学	Pediatrics	専門基礎	必修	講義	1	15	15		小児の成長・発達及び小児の病態・障害を理解し、子どもと保護者への支援に活かす能力を身につける。具体的には、神経系(脳性まひ、てんかん、発達障害など)、遺伝子・染色体異常(ダウン症候群など)、筋ジストロフィーなどの障害と臨床医学(リハビリテーション)について理解する。
	整形外科学	Orthopedics	専門基礎	必修	講義	2	30	30		疾病や外傷に起因する運動器障害の疾病を理解するとともに、これらの疾病から派生する障害について説明出来るようになる。
	神経内科	Neurology	専門基礎	必修	講義	2	30	30		末梢および中枢神経系機能の障害に起因する疾病を理解するとともに疾病から派生する障害について説明出来るようになる。
	一般臨床医学	Introduction to Clinical Medicine	専門基礎	必修	講義	3	45	30	15	健康の基本的概念と疾病に関する概念、予防医学、栄養学、臨床薬学、画像診断学、救急救命医学の概要を理解することにより、様々な臨床判断の理論的背景について説明できるようになる。特に臨床医学の全体像、診断→検査→治療の流れ、生理学的検査、画像検査、薬物療法、リハビリテーション、手術療法、クリニカルパス等について理解する。
	臨床心理学	Clinical Psychology	専門基礎	必修	演習	1	30	30		心理学の基礎知識、臨床心理学を学び、かつ心理学的な対人援助の方法と実際について理解すること、医療・福祉の現場で人を心理的に支援する能力を身につける。日常生活における心の健康、知覚・学習・記憶・心理社会・発達などの基本概念、及び代表的な心理療法、心理検査について理解する。
	チーム医療論	Team Medicine	専門基礎	必修	講義	1	15		15	対象者を中心に、その人に関わる様々な人々の役割を理解し、連携する方法を学ぶことにより、人々との協働、日々の生活活動への参加を促進する能力を身につける。ICFにおける健康と障害、医療福祉等の領域における健康ケア専門職の役割とチーム医療の意義を理解する。
	社会福祉論	Social Welfare	専門基礎	必修	講義	1	15	15		社会福祉の基本概念、その運動と歴史を学ぶことにより、多様な人々の生活と社会の力動性を理解した上で対象者に関与できる能力を身につける。社会保障論、障害者福祉論、社会福祉法制の基礎と社会福祉の機構について理解する。医療、自立支援、児童福祉、高齢者福祉等を包括する地域包括ケアシステムについてその意義を理解する。
	職場関連技術論	Occupational Therapy and Employment Support	専門基礎	必修	講義	1	15	15		作業療法理論における「生産活動」及び就労、仕事などに関わる概念を理解することで、就労支援と生活支援の意味を理解し、実際の地域活動に参加できる能力を身につける。心理社会的発達における生産性と世代性、キャリア形成論などを理解し、就労支援事業所の実際について様々な観点から理解を深める。
	作業療法管理学	Occupational Therapy Management	専門	必修	講義	2	30	30		作業療法の臨床における制度的な統制と施設の組織的な管理について理解するとともに、職場管理の問題を特定し、自立的に思考したことを表現する能力を身につける。作業療法実践に関連する法律と倫理について理解する。作業療法教育においては、実習指導を中心とした現場での学生指導、新人教育などの卒業後教育に必要な要素や仕組みについて理解し、自身・後進の育成におけるキャリアマップをイメージすることができる。
	作業療法評価学Ⅰ	Occupational Therapy AssessmentⅠ	専門	必修	講義	2	30	30		作業療法評価理論について理解する。これまでに学んだ精神障害領域、高齢者領域の基礎知識を踏まえ、これら領域の基礎的な評価技法を習得する。またこれら領域の臨床において実際に評価をする総合的な能力を身につける。評価の定義、評価の手順、情報収集と解釈について理解する。対象者の基本情報を基に評価計画を立てることが出来る。評価面接と観察と記録の基本的な技法を身につける。各領域のアセスメント法及び代表的疾患の評価事例について理解する。

	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門科目	作業療法評価学Ⅱ	Occupational Therapy Assessment II	専門	必修	演習	2	60	60		運動機能評価法で学んだ基礎知識をもとに、演習を通して基礎的技法を習得する。作業療法評価の意義、目的や手段、手順、評価におけるリスク管理等について理解する。面接と観察、バイタルサインの評価、形態測定、関節可動域測定、徒手筋力検査、感覚検査、深部腱反射と姿勢反射の検査、筋緊張検査と協調性検査、上肢機能評価、ADL評価等が実施できる。
	作業療法評価学Ⅲ	Occupational Therapy Assessment III	専門	必修	演習	1	30		30	運動機能評価法で学んだ基礎知識をもとに、演習を通して作業療法評価のための基礎的技法を習得する。身体障害領域の臨床において実際に評価をする能力を身につける。脳血管障害・頭部外傷・神経変性・上肢の末梢神経損傷・関節リウマチ・全身性エリテマトーデス(SLE)・その他の神経筋疾患等々の患者の評価に関する知識・技術を習得する。評価結果を解釈して治療計画に結びつけることができる。
	身体障害治療学	Occupational Therapy for Physical Disorders	専門	必修	講義	4	60	30	30	臨床実習に向け、身体障害領域の各疾患・障害別の実践的技法について習得する標準予防策、リスク管理、コミュニケーション、上肢管理、下肢装具の装着介助、車椅子の駆動介助、移乗介助、歩行介助、呼吸練習・排痰手法、構音練習、食事動作・摂食下練習、更衣動作・入浴動作練習、IA/DL練習の基礎的技法を身につける。
	老年期治療学	Occupational Therapy for Geriatric Disorders	専門	必修	講義	2	30		30	老年期障害領域における各障害に対する作業療法の実践を身に付ける事が出来るようになる。
	精神障害治療学	Occupational Therapy for Mental Disorders	専門	必修	講義	4	60	30	30	臨床実習に向け、精神障害領域の各障害に対する作業療法を実施する能力を身につける。精神疾患により生活のしづらさに悩む人々への治療・援助計画を、その人の個人因子・背景因子を踏まえて立案・実施するための知識・技術を習得する。精神科医療、精神障害リハビリテーションと作業療法に関する基礎知識、疾患別の作業療法について説明できる。統合失調症の病期ごとの作業療法の特性を理解する。
	発達障害治療学	Occupational Therapy for Developmental Disorders	専門	必修	演習	1	30		30	演習を通して、発達障害領域の作業療法評価、治療、援助を実施する能力を身につける。子どもの正常発達(運動と認知)についての概要を説明することができる。発達障害領域の評価の種類と内容と使い方を導く。具体的な疾患の特徴を知り、それに対してのアプローチを説明することができる。
	義肢装具学	Prosthetists and Orthotists	専門	必修	演習	1	30		30	演習を通して、義肢装具に関する基礎知識を習得し、作業療法実践に有効に用いる能力を身につける。四肢の切断に対する義肢と装具に関する基礎的な知識(定義・分類・適応・適合判定など)を得る。実際の義肢装具を触れ操作することで理解を深める。実際にコックアップスプリント、指用フックルベンダーを作成する。義肢装具にかかわる作業療法士の役割を理解する。
	日常生活活動学	Activity of Daily Living	専門	必修	講義	4	60	60		日常生活活動に参加する能力を高める作業療法を実施できるようにする。作業療法の視点から日常生活活動を理解し述べる事ができる。日常生活動作の各活動について分析し特性を説明する。生活関連動作や社会的活動について理解し具体的に述べる。日常生活活動の定量評価について学び測定することができる。
専門科目	高次脳機能障害治療学	Occupational Therapy for High-order Brain Disfunction	専門	必修	講義	3	45	45		高次脳機能障害に対する作業療法を実施するための基礎的な能力を身につける。基本的な高次脳機能障害を講義し説明ができる。高次脳機能障害に対応する代表的な検査を体験し、特徴を述べる事ができる。高次脳機能障害とADLの関わりを理解し、障害像をイメージできる。高次脳機能障害の基本的な作業療法介入について理解し、プログラムの立案ができる。
	測定実習	Measurement training	専門	必修	実習	3	135		135	臨床実習Ⅰに向けて、実際の対象者を通して、検査、測定技術の身に付ける。作業療法士の実習指導者から実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。バイタルサイン(血圧・脈拍)測定、ROMテスト、MMT、フルンストロームステージテストを実施する。そして実習前後評価を通して、教育結果を判定する。
	臨床実習Ⅰ	Basic Clinical Fieldwork I	専門	必修	実習	7	315		315	臨床(評価)実習指導者のもとに、優りなく各疾患・病期・年齢層の患者について、評価問題点を指出し治療目標設定・治療計画立案までの流れを実施する事が出来るようになる。実習指導者から、実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。そして実習前後評価を通して、教育結果を判定する。
総単位数 (50)							総時間数 (1,170)			

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、46単位以上60単位未満とする

【標準年次別時間数・単位数】

1年次	975時間 / 52単位
-----	--------------

2年次	1,170時間 / 50単位
3年次	1,200時間 / 30単位

2023年度 教科課程

作業療法士科昼間部

3年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単位 数	時間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
基礎	基礎医学特論Ⅲ	Method of biochemistry Ⅲ	専門 基礎	必修	演習	4	120	120		解剖学や生理学等の基礎医学的知識を背景に内科学や整形外科、脳神経内科学等の臨床医学との関連を強化し、対象者の障害を理解する応用的な能力を身に付ける。特に循環器疾患、消化器疾患、泌尿器疾患、呼吸器疾患、中枢神経疾患等の病因、診断、治療についての理解を深める。
専門科目	地域実習	Practice in Community	専門	必修	実習	2	90		90	地域生活支援を実践する場（通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等）で実習をすることにより、地域生活における課題解決能力、支援技術を培い、地域作業療法を実践する能力を身につける。作業療法士の実習指導者から実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。そして実習前後評価を通して、教育結果を判定する。
	臨床実習Ⅱ	Basic Clinical FieldworkⅡ	専門	必修	実習	9	405	405		臨床実習指導者のもとに、偏りなく各疾患・病期・年齢層の患者について、評価→問題点の抽出→治療目標設定→治療計画立案→治療実施→再評価という流れを充分把握し作業療法を行う事が出来るようになる。実習指導者から、実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。そして実習前後評価を通して、教育結果を判定する。
	臨床実習Ⅲ	Basic Clinical FieldworkⅢ	専門	必修	実習	9	405		405	臨床実習指導者のもとに、偏りなく各疾患・病期・年齢層の患者について、評価→問題点の抽出→治療目標設定→治療計画立案→治療実施→再評価という流れを充分把握し作業療法を行う事が出来るようになる。実習指導者から、実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。そして実習前後評価を通して、教育結果を判定する。
その他	作業療法総合学習Ⅰ	Program for National ExaminationⅠ	その他	必修	演習	1	30	30		これまでに受講した授業や臨床実習で学んだ内容の要点を整理し、作業療法全般の理解を深めるとともに、1・2年で学んだ基礎知識を確認することで、作業療法を系統的に理解する。専門基礎分野で学んだ知識（主に基礎医学・臨床医学的知識）の要点を確認し、総合的な学習経験と結びつける。毎回講義内容に即した学習課題を実行する。
	作業療法総合学習Ⅱ	Program for National ExaminationⅡ	その他	必修	演習	5	150		150	これまでに受講した授業や臨床実習で学んだ内容の要点を整理し、作業療法全般の理解を深めるとともに、1・2年で学んだ基礎知識を確認することで、作業療法を系統的に理解する。専門基礎分野で学んだ知識（主に基礎医学・臨床医学的知識）の要点を確認し、総合的な学習経験と結びつける。毎回講義内容に即した学習課題を実行する。
			総単位数（30）						総時間数（1,200）	
（履修科目の下限と上限） 1年間に履修する授業科目は、27単位以上36単位未満とする										
【標準年次別時間数・単位数】										

	1年次	975時間 / 52単位						
	2年次	1,170時間 / 50単位						
	3年次	1,200時間 / 30単位						

2023年度 教科課程

作業療法士科夜間部

1年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
基礎 科目	心理学	Psychology	基礎	必修	講義	2	30		30	人の心の基本的な仕組みについて理解し、人の心理を考える手がかりとなる知識と、科学的に心を解明する方法について学ぶ。
	基礎学習法A	Method of Basic learning A	基礎	必修	講義	2	30	30		自分の力で課題を発見し、主体的に自ら学び続けることができる習慣を身につける。様々な情報を客観的・批判的に取捨選択をして統合整理し、自分の考えを表現できる能力を身につける。主に文章課題について取り上げる。
	基礎学習法B	Method of Basic learning B	基礎	必修	講義	2	30		30	自分の力で課題を発見し、主体的に自ら学び続けることができる習慣を身につける。様々な情報を客観的・批判的に取捨選択をして統合整理し、自分の考えを表現できる能力を身につける。主に数学的課題について取り上げる。
	情報処理入門	Basic of Information Technology	基礎	必修	講義	2	30		30	コンピュータの仕組みを簡単に理解し、Word Excel などコンピュータソフト技能を身に付けるとともに、現代社会に必要なセキュリティについても学ぶ。
	人間関係論	Human Relations	基礎	必修	講義	2	30	15	15	良好な人間関係を築き、協働することができるコミュニケーション能力を身につける。カウンセリング理論を中心とした人間関係論や相互交流のリーディングについて理解する。省察により自己理解を深めることによって、対話スキル、自己表現スキル、社会的スキルなどを身につける。
	人の生活と作業	Functioning in Living	基礎	必修	講義	2	30	30		人の生活を構成する要素について概観し、IOF(国際生活機能分類)が提示している内容と、実際の生活レベルで理解する。
	国際教育学	International Education	基礎	必修	講義	2	30		30	諸外国の福祉、医療の異文化理解を深め、国際化社会に対応できる能力を身につける。国際教育学の概要と目的について理解する。障害者に対する関わり方の理念を理解する。海外のリハビリテーション・作業療法について説明することができる。
専門 基礎 科目	基礎医学特論Ⅰ	Method of biochemistry I	専門 基礎	必修	演習	2	60	30	30	解剖学と生理学の要点を理解し、人体の基本的な構造や機能の理解に応用する能力を身につける。特に骨・筋・神経を中心とした構造と機能について、循環器系、消化器系、泌尿器系、呼吸器系、中枢神経系等の働きについて理解・説明することができる。
	解剖学	Anatomy	専門 基礎	必修	講義	2	60	60		人体の構造を客観的に捉え、正確に記録・伝達するために必要な解剖学用語と記載法を学ぶ。人体の諸構造を系統的に整理し、機能との関連づけを通して、今後習得していく運動学、臨床医学を理解するに十分な解剖学的知識を習得する。特に骨学、筋学、神経系の構成について集中的に学び習得する。
	解剖学演習	Practice for Anatomy	専門 基礎	必修	演習	1	30		30	解剖学で得られた骨・筋・神経の知識に加え、人体を構成する胸部・腹部の内臓、脈管系感覚器の基本的構造・形態・機能について説明出来るようになる。
	生理学	Physiology	専門 基礎	必修	講義	2	60	60		人体の機能を客観的に捉え、正確に記録・伝達する能力を身につける。人体機能を記述する専門用語の内容を説明することができる。具体的には神経細胞、神経伝達、反射について説明できる。中枢神経系、筋と骨、諸感覚器の構造と機能、血液の組織と機能などを理解する。
	生理学演習	Practice for Physiology	専門 基礎	必修	演習	1	30		30	生理学で得られた知識を深めるとともに、生体の反射調節・運動機構について説明出来るようになる。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門基礎科目	運動学	General Kinesiology	専門基礎	必修	講義	2	60	60		人間の身体運動を科学的に分析研究することより得られた運動器の構造や機能、正常運動の特性について総論的に説明出来るようになる。
	運動学演習	Practice for General Kinesiology	専門基礎	必修	演習	1	30		30	解剖学や生理学および物理学の知識を基に、人間の身体運動を科学的に分析して理解する能力を身につける。運動器の構造や機能、正常運動の特性について体験的に理解する。具体的には生体力学の基礎及び生体の構造と機能について体系的に触れることで理解する。作業・動作及び姿勢の分析を実行することができる。
	一般臨床医学Ⅰ	Introduction to Clinical Medicine I	専門基礎	必修	講義	2	30		30	医学とは何か、またどのように発展してきたか歴史と過程を学ぶ。また医療機関の特徴や、医療者として必要な心構えや標準予防策を実践するための知識を学ぶ。
	職業リハビリテーション	Rehabilitation for Profession	専門基礎	必修	講義	1	15		15	ICFにおける「生産活動」及び就労、仕事などに関わる概念を理解することで、就労支援と生活支援の意味を理解し、実際の地域活動に参加できる能力を身につける。心理社会的発達における生産性と世代性、キャリア形成論などを理解し、人にとって職業及び働くことの意味について様々な観点から理解を深める。
	社会福祉概論	Social Welfare	専門基礎	必修	講義	1	15	15		社会福祉の基本概念、その運動と歴史を学ぶことにより、多様な人々の生活と社会の力動性を理解した上で対象者に関与できる能力を身につける。社会保険論、障害者福祉論、社会福祉法制の基盤と社会福祉の機構について理解する。医療、自立支援、児童福祉、高齢者福祉等を包括する地域包括ケアシステムについてその要点を理解する。
	リハビリテーション概論	Introduction for Rehabilitation	専門基礎	必修	講義	1	15	15		リハビリテーションの理念、歴史、目的をはじめ医学的・社会的・職業的・教育的リハビリテーションを総合的に理解することにより、リハビリテーションにおける作業療法の位置について説明できるようにする。国際障害分類(ICIDH)と国際生活機能分類(ICF)の思想、個人モデルと社会モデルについて理解する。リハビリテーションの過程と諸相について理解する。
専門科目	作業療法理論	Theory for Occupational Therapy	専門	必修	講義	2	30	30		作業療法の起源や歴史、および定義や治療理論などを作業療法学としての学問的基礎知識と記録・報告などの基礎技法を学ぶとともに、作業療法を展開するうえで必要な作業療法理論とその周辺領域の理論について学ぶ。
	基礎作業学	Basic Theory and Practice for Occupational Therapy	専門	必修	講義	2	30	30		作業の概念を理解することで、作業療法が作業に基づく実践であることを多角的に説明する能力を身につける。作業の定義、作業の目的別区分(生産活動、遊び、セルフケア)について理解する。作業・活動分析の目的と形式を理解する。
	基礎作業学実習	Occupation Practice	専門	必修	実習	2	90		90	作業療法の治療手段であり目的でもある作業活動を行うことを通じて、その基礎的な知識と技術を習得する。作業活動の実践において協働や参加の意義を感得し表現する。作業・活動分析を実際に行うことができる。
	身体運動系評価学Ⅰ	Occupational Therapy Assessment for Physical Function I	専門	必修	講義	1	30		30	主に成人における身体障害領域でのリハビリテーション評価全般と、一般的な作業療法評価について学ぶ。
	精神心理系評価学Ⅰ	Occupational Therapy Assessment for Mental Function I	専門	必修	講義	1	30		30	主に精神障害領域でのリハビリテーション評価全般と、一般的な作業療法評価について学ぶ。
	日常生活活動学	Activity of Daily Living	専門	必修	講義	2	30		30	ICFにおける生活機能を概観し、日常でその生活機能に支障があった場合の改善策について理解し、工夫の方法を学ぶ。

	地域作業療法学Ⅰ	Occupational Therapy for Community-Based Rehabilitation	専門	必修	講義	2	30		30	地域における作業療法をとりまく医療・福祉の理念、サービス体系、推進方法などを学び、地域包括ケアの概念の中で作業療法士の果たす役割について理解する。
	臨床実習Ⅰ	Basic Clinical FieldworkⅠ	専門	必修	実習	1	45		45	作業療法士が実際に働いていたり必要とされる場面で、作業療法の目的や方法についてどのように実践しているか見学を主体にした実習を行う。
	臨床実習概論	Basic Clinical Fieldwork Overview	専門	必修	講義	1	45		45	3年間で行われる臨床実習について方法や手段を理解し、実習生として望まれる態度や知識について実際に行動して学習する。
その他	作業療法総合学習Ⅰ	Program for National ExaminationⅠ	その他	必修	講義	2	60	30	30	これまでに受講した授業や臨床実習で学んだ内容の要点を整理し、作業療法全般の理解を深めるとともに、1年で学んだ基礎知識を確認することで、作業療法を系統的に理解する。専門基礎分野で学んだ知識(主に基礎医学的知識)の要点を確認し、総合的な学習経験と結びつける。毎回講義内容に即した学習課題を実行する。
			総単位数 (46)						総時間数 (1,035)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、46単位以上55単位未満とする

【標準年次別時間数・単位数】

1年次	1,035時間 / 46単位
2年次	1,020時間 / 39単位
3年次	1,290時間 / 39単位

※「国際教育学」は6段階評価の対象外科目であり、評価はS(合格)、またはU(不合格)とします。

2023年度 教科課程

作業療法士科夜間部

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門基礎科目	基礎医学特論Ⅱ	Method of biochemistryⅡ	専門基礎	必修	演習	2	60		60	臨床実習で必要となる上肢、下肢を中心とした人体の運動機能と、解剖生理学で学び得た基礎医学の知識を統合し理解を深める。特に上肢・下肢・骨柱の神経支配や運動機能、姿勢や運動学習等について理解・説明することができる。
	小児科学	Pediatrics	専門基礎	必修	講義	1	15	15		小児の成長・発達及び小児の病態・障害を理解し、子ども保護者への支援に活かす能力を身につける。具体的には、神経系(脳性まひ、てんかん、発達障害など)、遺伝子・染色体異常(ダウン症候群など)、筋ジストロフィーなどの障害と臨床医学(リハビリテーション)について理解する。
	整形外科科学	Orthopedics	専門基礎	必修	講義	2	30	30		疾病や外傷に起因する運動器障害の疾病を理解するとともに、これらの疾病から派生する障害について説明出来るようになる。
	神経内科	Neurology	専門基礎	必修	講義	2	30	30		末梢および中枢神経系機能の障害に起因する疾病を理解するとともに疾病から派生する障害について説明出来るようになる。
	一般臨床医学	Introduction to Clinical Medicine	専門基礎	必修	講義	3	45		45	健康の基本的概念と疾病に関する概念、予防医学、栄養学、臨床薬学、画像診断学、救急救命医学の概要を理解することにより、様々な臨床判断の理論的背景について説明できるようにする。特に臨床医学の全体像、診断→検査→治療の流れ、生理学的検査、画像検査、薬物療法、リハビリテーション、手術療法、クリニカルパス等について理解する。
	臨床心理学	Clinical Psychology	専門基礎	必修	演習	1	30	30		心理学の基礎知識、臨床心理学を学び、かつ心理的対人援助の方法と実践について理解すること、医療・福祉の現場で人を心理的に支援する能力を身につける。日常生活における心の健康、知識・学習・記憶・心身社会・発達などの基本概念、及び代表的な心理療法、心理検査について理解する。
	チーム医療論	Team Medicine	専門基礎	必修	講義	1	15		15	対象者を中心に、その人に関わる様々な人々の役割を理解し、連携する方法を学ぶことにより、人々との信頼、日々の生活活動への参加を促進する能力を身につける。ICFにおける健康と安寧、医療福祉等の領域における健康ケア専門職の役割とチーム医療の意義を理解する。
	社会福祉論	Social Welfare	専門基礎	必修	講義	1	15		15	社会福祉の基本概念、その運動と歴史を学ぶことにより、多様な人々の生活と社会の力動性を理解した上で対象者に与えられる能力を身につける。社会保障、障害者福祉、社会福祉法制度の基礎と社会福祉の連携について理解する。医療、自立支援、児童福祉、高齢者福祉等を包括する地域包括ケアシステムについてその要点を理解する。
	職場関連技術論	Occupational Therapy and Employment Support	専門基礎	必修	講義	1	15		15	作業療法論における「生産活動」及び就労、仕事などに関わる概念を理解することで、就労支援と生活支援の意味を理解し、実際の地域活動に参加できる能力を身につける。心理社会的発達における生産性と世代性、キャリア形成論などを理解し、就労支援事業所の実態について様々な観点から理解を深める。
	作業療法管理学	Occupational Therapy Management	専門	必修	講義	2	30		30	作業療法の臨床における制度的な統制と施設の組織的な管理について理解するとともに、職場管理の問題を特定し、自律的に思考したこととを表現する能力を身につける。作業療法実践に関連する法律と規制について理解する。作業療法教育においては、実習指導を中心とした現場での学生指導、新人教育などの卒業後教育に必要な要素や仕組みについて理解し、自身・後進の育成におけるキャリアマップをイメージすることができる。
	作業療法評価学Ⅰ	Occupational Therapy AssessmentⅠ	専門	必修	講義	2	30	30		作業療法評価論について理解する。これまでに学んだ精神障害領域、高齢者領域の基礎知識を踏まえ、これら領域の基礎的な評価技法を習得する。またこれら領域の臨床において実際に評価をする総合的な能力を身につける。評価の定義、評価の手順、情報収集と解釈について理解する。対象者の基本情報を基に評価計画を立てることができる。評価面接と観察と記録の基本的な技法を身につける。各領域のアセスメント法及び代表的疾患の評価事例について理解する。

	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門科目	作業療法評価学Ⅱ	Occupational Therapy Assessment II	専門	必修	演習	2	60	60		運動機能評価法で学んだ基礎知識をもとに、演習を通して基礎的技法を習得する。作業療法評価の意義、目的や手段、手順、評価におけるリスク管理等について理解する。面接と観察、バイタルサインの評価、形態測定、関節可動域測定、徒手筋力検査、感覚検査、深部腱反射と姿勢反射の検査、筋緊張検査と協調性検査、上肢機能評価、ADL評価等が実施できる。
	作業療法評価学Ⅲ	Occupational Therapy Assessment III	専門	必修	演習	1	30		30	運動機能評価法で学んだ基礎知識をもとに、演習を通して作業療法評価のための基礎的技法を習得する。身体障害領域の臨床において実際に評価をする能力を身につける。脳血管障害・頭部外傷・骨髄損傷・上肢の末梢神経損傷・関節リウマチ・全身性エリテマトーデス(SLE)・その他の神経筋疾患等の急別の評価に関する知識・技術を習得する。評価結果を解釈して治療計画に結びつけることができる。
	身体障害治療学	Occupational Therapy for Physical Disorders	専門	必修	講義	4	60	30	30	臨床実習に向け、身体障害領域の各疾患・障害別の作業療法の実施について習得する標準予防策、リスク管理、コミュニケーション、上肢管理、下肢装具の装着介助、車椅子の駆動介助、移乗介助、歩行介助、呼吸練習・排痰手技、構音練習、食事動作・摂食嚥下練習、更衣動作・入浴動作練習、IADL練習の基礎的技法を身につける。
	老年期治療学	Occupational Therapy for Geriatric Disorders	専門	必修	講義	2	30		30	老年障害領域における各障害に対する作業療法の実践を身につける事が出来るようになる。
	精神障害治療学	Occupational Therapy for Mental Disorders	専門	必修	講義	4	60	30	30	臨床実習に向け、精神障害領域の各障害に対する作業療法の実践する能力を身につける。精神疾患により生活のしづさに悩む人々への治療・援助計画を、その人の個人因子・背景因子を踏まえて立案し実施するための知識・技術を習得する。精神科疾患、精神障害リハビリテーションと作業療法に関する基礎知識、疾患別の作業療法について説明できる。統合失調症の病期ごとの作業療法の特性を理解する。
	発達障害治療学	Occupational Therapy for Developmental Disorders	専門	必修	演習	1	30		30	演習を通して、発達障害領域の作業療法評価、治療、援助を実施する能力を身につける。子どもの正常発達(運動と認知)についての概要を説明することができる。発達障害領域の評価の種類と内容と使い方を理解する。具体的な疾患の特徴を知り、それに対してのアプローチを説明することができる。
	義肢装具学	Prosthetists and Orthotists	専門	必修	演習	1	30		30	演習を通して、義肢装具に関する基礎知識を習得し、作業療法実践に有効に用いる能力を身につける。四肢の切断に対する義肢や装具に関する基礎的な知識(定義・分類・適応・適合判定など)を習得する。実際の義肢装具を組立製作することで理解を深める。実際にコンピュータグラフィック、指用オルソペンダグを作成する。義肢装具にかかわる作業療法士の役割を理解する。
専門科目	日常生活活動学	Activity of Daily Living	専門	必修	講義	4	60	60		日常生活活動に参加する能力を高める作業療法を実施できるようにする。作業療法の視点から日常生活活動を理解し述べる事ができる。日常生活活動の各活動について分析し特性を説明する。生活関連運動や社会的活動について理解し具体的に述べる。日常生活活動の定量評価について学び測定することができる。
	高次脳機能障害治療学	Occupational Therapy for High-order Brain Disfunction	専門	必修	講義	3	45	45		高次脳機能障害に対する作業療法を実施するための基礎的な能力を身につける。基本的な高次脳機能障害を理解し説明ができる。高次脳機能障害に対応する代表的な検査を体験し、特徴を述べることができる。高次脳機能障害とADLの関わりを理解し、障害像をイメージできる。高次脳機能障害の基本的な作業療法介入について理解し、プログラムの立案ができる。
	測定実習	Measurement training	専門	必修	実習	3	135		135	臨床実習Ⅰに向けて、実習の対象者を通して、検査、測定の技術を身につける。作業療法士の実習指導者から実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。バイタルサイン(血圧・脈拍)測定、ROMテスト、MMT、ブルンストロームステージテストを実施する。そして実習前後評価を通して、教育結果を判定する。
	臨床実習Ⅰ	Basic Clinical Fieldwork I	専門	必修	実習	7	315		315	臨床(評価)実習指導者のもとに、偏りなく各疾患・病期・年齢層の患者について、評価一問題点の抽出→治療目標設定→治療計画立案までの流れを実施する事が出来るようになる。実習指導者から、実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。そして実習前後評価を通して、教育結果を判定する。
			総単位数 (50)						総時間数 (1,170)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、46単位以上60単位未満とする

【標準年次別時間数・単位数】

1年次	975時間 / 52単位
-----	--------------

2年次	1,170時間 / 50単位
3年次	1,200時間 / 30単位

2023年度 教科課程

作業療法士科夜間部

3年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単位 数	時間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
基礎	基礎医学特論Ⅲ	Method of biochemistry Ⅲ	専門 基礎	必修	演習	4	120	120		解剖学や生理学等の基礎医学的知識を背景に内科学や整形外科、脳神経内科学等の臨床医学との関連を強化し、対象者の障害を理解する応用的な能力を身に付ける。特に循環器疾患、消化器疾患、泌尿器疾患、呼吸器疾患、中枢神経疾患等の病因、診断、治療についての理解を深める。
専門科目	地域実習	Practie in Community	専門	必修	実習	2	90		90	地域生活支援を実践する場（通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等）で実習をすることにより、地域生活における課題解決能力、支援技術を培い、地域作業療法を実践する能力を身につける。作業療法士の実習指導者から実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。そして実習前後評価を通して、教育結果を判定する。
	臨床実習Ⅱ	Basic Clinical FieldworkⅡ	専門	必修	実習	9	405	405		臨床実習指導者のもとに、偏りなく各疾患・病期・年齢層の患者について、評価→問題点の抽出→治療目標設定→治療計画立案→治療実施→再評価という流れを充分把握し作業療法を行う事が出来るようになる。実習指導者から、実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。そして実習前後評価を通して、教育結果を判定する。
	臨床実習Ⅲ	Basic Clinical FieldworkⅢ	専門	必修	実習	9	405		405	臨床実習指導者のもとに、偏りなく各疾患・病期・年齢層の患者について、評価→問題点の抽出→治療目標設定→治療計画立案→治療実施→再評価という流れを充分把握し作業療法を行う事が出来るようになる。実習指導者から、実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。そして実習前後評価を通して、教育結果を判定する。
その他	作業療法総合学習Ⅰ	Program for National ExaminationⅠ	その他	必修	演習	1	30	30		これまでに受講した授業や臨床実習で学んだ内容の要点を整理し、作業療法全般の理解を深めるとともに、1・2年で学んだ基礎知識を確認することで、作業療法を系統的に理解する。専門基礎分野で学んだ知識（主に基礎医学・臨床医学的知識）の要点を確認し、総合的な学習経験と結びつける。毎回講義内容に即した学習課題を実行する。
	作業療法総合学習Ⅱ	Program for National ExaminationⅡ	その他	必修	演習	5	150		150	これまでに受講した授業や臨床実習で学んだ内容の要点を整理し、作業療法全般の理解を深めるとともに、1・2年で学んだ基礎知識を確認することで、作業療法を系統的に理解する。専門基礎分野で学んだ知識（主に基礎医学・臨床医学的知識）の要点を確認し、総合的な学習経験と結びつける。毎回講義内容に即した学習課題を実行する。
						総単位数（30）		総時間数（1,200）		
（履修科目の下限と上限） 1年間に履修する授業科目は、27単位以上36単位未満とする										
【標準年次別時間数・単位数】										

	1年次	975時間 / 52単位							
	2年次	1,170時間 / 50単位							
	3年次	1,200時間 / 30単位							

2023年度 教科課程

こども保育科昼間コース

1年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間 数	学期別 時間数		科目概要
								前期	後期	
教養科目	情報機器入門	Basic Information Technology	基礎	必修	講義	1	15	15		保育・幼児教育において必要なITリテラシーやOSなどの基本操作・ICT活用のための知識・スキルを学ぶ。
	文章表現	Style of Writing	基礎	必修	講義	1	15	15		保育現場で必要とされる文章表現を学び、確かな国語力を身につけるとともに、社会人としての教養を伸ばす。
	キャリア教育プログラムⅠ	Career Education I	基礎	必修	演習	2	60	30	30	保育士を目指す学生一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す。
	日本国憲法	The Constitution of Japan	基礎	選択	講義	2	30		30	社会の最小単位の家族とそれに関する法律を理解しながら、憲法に対する自らのリーガルマインドを養う。
	英会話	English conversation	基礎	必修	演習	2	60	30	30	国際教育の理念に基づき、簡単な英語遊びを園児たちとできるようになる。
	健康スポーツⅠ	health & Sports II	基礎	必修	実技	1	30	30		運動がこどもに与える影響や意義を理解し、説明ができるようになる。
	健康スポーツⅡ	health & Sports I	基礎	必修	講義	1	15	15		こどもと一緒にできる運動やルールのある遊びを、保育者の配慮も踏まえて企画立案できるようになる。
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	Child care principle	専門	必修	講義	2	30	30	保育の意義について理解する。保育の内容と方法の基本について理解する。
		教育原理	Principle of education	専門	必修	講義	2	30	30	教育の意義、目的及び児童福祉等とのかかわりについて学び、教育制度の変遷を記述できるようになる。
		社会的養護Ⅰ	Social protection	専門	必修	講義	2	30	30	児童福祉施設や里親制度など、児童福祉をとりまく環境やそれに伴う養護のあり方を学ぶ。
		保育者論	Theory of Childcare Worker	専門	必修	講義	2	30	30	保育者とは何かを理解する。また、保育者の役割を理解した上でその実践への展開を図る。
	保育の理解に関する科目	保育の心理学	Psychology of Nursing	専門	必修	講義	2	30	30	子どもの発達にかかわる心理学的基礎を学び、こどもの発達段階における心理的な成長を理解する。
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	Childcare Planning	専門	必修	講義	2	30	30	保育内容に関連する保育の計画及び評価について理解し、全体的な計画と指導計画の作成について理解する。
		保育内容総論	Childcare content introduction	専門	必修	演習	1	30	30	保育所保育指針に基づく保育の基本及び保育内容の理解をし、保育の多様な展開について学ぶ。
		保育内容Ⅰ	Childcare and Education I	専門	必修	演習	2	60	60	発達段階に応じた絵画造形の基礎と保育内容の方法を学び、創作活動を適切に指導する指導力と場面に応じて行える技術を身に付ける。

2023年度 教科課程

こども保育科昼間コース

1年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間 数	学期別 時間数		科目概要
								前期	後期	
必修科目	保育の内容・方法に関する科目	保育内容Ⅱ	Childcare and Education II	専門	必修	演習	3	90	90	発達段階に応じた絵画造形の基礎と保育内容の方法を学び、創作活動を適切に指導する指導力と場面に応じて行える技術を身に付ける。
		保育内容の理解と方法(造形)	Childcare Program (Arts and Crafts)	専門	必修	演習	1	30	30	子どもの発達と造形表現に関する知識と技術を習得し、教材等の活用や作成、保育環境構成を学ぶ。
		乳児保育Ⅰ	Infant nursing care I	専門	必修	講義	2	30	30	3歳児未満児の発達・保育について学んだことを、実践的に考える。
		障害児保育Ⅰ	Nursing of handicapped children I	専門	必修	演習	1	30	30	様々な障がいについて理解し、保育における発達の援助・環境構成について学ぶ。
	保育実習	保育実習Ⅰ(保育所)	Practice teaching in child welfare institutions	専門	必修	実習	2	80	80	子どもとの関わりや観察を通して子どもへの理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ。
		保育実習指導Ⅰー①	Studies for Practice teaching in child welfare institutions	専門	必修	演習	1	30	30	保育実習の意義・目的を理解する。また実習の振り返りを通じて次回の実習に学びをつなげる。
選択必修科目	実習トレーニング	Training for practice teaching I	専門	必修	講義	1	15	15		保育計画・指導案・実習日誌の書き方等、実習に必要な知識と技術を学ぶ。
	音楽Ⅰ	Music I	専門	必修	実技	1	30	30		音楽基礎となる楽譜、音譜、リズムを学び、主にピアノ技術を学ぶ。
	音楽Ⅱ	Music II	専門	必修	実技	1	30		30	音楽基礎となる楽譜、音譜、リズムを学び、主にピアノ技術を学ぶ。
独自科目	こども教室Ⅰ	Childcare Practice I	専門	選択	演習	3	90	90		乳児期・幼児期における発達・発達に応じた指導技術を実践する。
	こども教室Ⅱ	Childcare Practice II	専門	選択	演習	3	90		90	乳児期・幼児期における発達・発達に応じた指導技術を実践する。
	ノビルバA	nobiruba A	専門	選択	演習	1	30	15	15	興味あるものを選び(アートや音楽)専門的な知識、技術を学んで、その分野の理解を深める。
	ノビルバB	nobiruba B	専門	選択	演習	4	120	30	90	ダンスの基礎から本格的な技術まで学び、興味を深める。その知識、技術を活用して表現の技術を向上させる。
			1年次 設置総単位数 49単位 最低取得単位数 36単位						1年次 設置総時間数 1190時間 最低取得単位数 830時間	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、33単位以上44単位未満とする

2023年度 教科課程

こども保育科昼間コース

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間 数	学期別 時間数		科目概要
								前期	後期	
教養 科目	キャリア教育プログラムⅡ	Career Education II	基礎	必修	演習	1	30	15	15	保育士としてのキャリアをスタートさせるに当たってのキャリア形成と卒業後のキャリア開発に向けての意識を育む。
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	Child care principle	専門	必修	講義	2	30	30	保育の意義について理解する。保育の内容と方法の基本について理解する。
		子ども家庭福祉	Child family welfare	専門	必修	講義	2	30	30	こども家庭福祉の意義と歴史の変遷や、現状と課題について理解する。
		子ども家庭支援論	Child family support theory	専門	必修	講義	2	30	30	家庭の意義とその機能について理解し、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援体制について学ぶ。
	保育の対象の理解に関する科目	子ども家庭支援の心理学	Psychology of Child and Family Support	専門	必修	講義	2	30	30	家族、家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の視点から理解をする。
		子どもの理解と援助	Understanding of Children and Support	専門	必修	演習	1	30	30	保育の実践において実態に応じた子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの重要性について理解する。
		子どもの保健	Child's health	専門	必修	講義	2	30	30	子どもの疾病や適切な対応について理解し、緊急時の対応や安全管理について具体的に学ぶ。
		子どもの食と栄養	Child's food and nourishment	専門	必修	演習	2	60	30 30	健康な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基礎知識を学ぶ。
	保育の内容・方法に関する科目	保育内容の理解と方法(身体)	Childcare Program (Bodily Expression)	専門	必修	演習	1	30	30	子どもの発達と身体表現に関する知識と技術を習得し、表現方法を身に付ける。
		乳児保育Ⅱ	Infant nursing care II	専門	必修	演習	1	30	30	3歳児未満児の発達・保育について学んだことを、実践的に考える。
		子どもの健康と安全	Health and Safety for Children	専門	必修	演習	1	30	30	保育における衛生管理や事故防止、危機管理、災害対策など子どもに対する安全管理について、理解する。
		障害児保育Ⅱ	Nursing of handicapped children II	専門	必修	演習	1	30	30	様々な障がいについて理解し、保育における発達の援助・環境構成について学ぶ。
		社会的養護Ⅱ	Social protection II	専門	必修	演習	1	30	30	児童養護のプログラム・処遇の実際を学ぶ。
		子育て支援	Parenting Support	専門	必修	演習	1	30	30	保育士の専門性を背景とし、保護者に対する相談・助言・情報提供、行動見本の提示等の支援を理解する。

2023年度 教科課程

こども保育科昼間コース

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間 数	学期別 時間数		科目概要
								前期	後期	
必修科目	保育実習	保育実習Ⅰ（保育所）	Practice teaching in child welfare institutions	専門	必修	実習	2	80	80	子どもとの関わりや観察を通して子どもへの理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ。
		保育実習Ⅰ（施設）	Practice teaching in child welfare institutions	専門	必修	実習	2	80	80	児童福祉施設及び社会福祉施設の機能と保育士の職務について学ぶ。
		保育実習指導Ⅰ―②	Studies for Practice teaching in child welfare institutions	専門	必修	演習	1	30	30	保育実習の意義・目的を理解する。また実習の振り返りを通じて次回の実習に学びをつなげる。
	総合演習	保育実践演習	Practical Training in child care	専門	必修	演習	2	30	30	今まで学んだ知識、技術を基に、実践を通して子どもに対する支援方法を考える
選択必修科目	愛着と自立	Development of Attachment	専門	選択必修①	講義	1	15		15	特に児童養護施設や乳児院の子どもやその愛着形成・自立について学ぶことで、将来保育者となった時の支援に活かす。
	赤ちゃんと保護者の心理	Psychology for Baby and Guardian	専門		講義	1	15		15	既習の「乳児保育」の学びを活かし、さらに乳児と保護者の心理面についても理解を深めるとともに、保育者としての支援を学ぶ。
	障害児の心理	Psychology for Disabled Children	専門		講義	1	15		15	既習の「障害児保育」の学びを活かし、さらに障害児の心理面の発達への理解を深め、将来保育者となった時の援助やその家庭への支援に活かす。
	学研保育トレーニングゼミ	Gakken Child care training	専門		講義	1	15		15	学研の教材や保育方法を基に、保育に対する実践の幅を広げる。
	知育研究	The teaching materials of the child	専門		講義	1	15		15	学研の知育教材について、実際の保育・幼児教育現場での活用を学ぶ。
	こどもとおもちゃ工作	Toys and Children	専門	選択必修②	講義	1	15		15	児童文化財の保育への展開、子どもの玩具活用、製作活動の実践について学び、将来保育現場で活用できるようになる。
	世界の子どもと保育（国内研修）	Different Childcare of the World (Home)	専門		演習	1	30		30	日本人としてのアイデンティティの確立や価値観や文化の違いを尊重する力を身につけ、将来保育現場における多文化共生保育の考え方を育む。
	世界の子どもと保育（海外研修）	Different Childcare of the World (Abroad)	専門		演習	1	30		30	日本人としてのアイデンティティの確立や価値観や文化の違いを尊重する力を身につけ、将来保育現場における多文化共生保育の考え方を育む。
	選択音楽Ⅰ	Music (select) I	専門		選択	実技	1	30	30	保育者として必要な音楽の技術を学ぶ。
	選択音楽Ⅱ	Music (select) II	専門		選択	実技	1	30	30	保育者として必要な音楽の技術を学ぶ。

2023年度 教科課程

こども保育科夜間主コース

2年

区分		開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間 数	学期別 時間数		科目概要
									前期	後期	
教養 科目		キャリア教育プ ログラムⅡ	Career EducationⅡ	基礎	必修	演習	1	30	15	15	保育士としてのキャリアをスタートさせるに当たってのキャリア形成と卒業後のキャリア開発に向けての意識を育む。
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	Child care principle	専門	必修	講義	2	30	30		保育の意義について理解する。保育の内容と方法の基本について理解する。
		子ども家庭福祉	Child family welfare	専門	必修	講義	2	30	30		こども家庭福祉の意義と歴史的変遷や、現状と課題について理解する。
		子ども家庭支援論	Child family support theory	専門	必修	講義	2	30	30		家庭の意義とその機能について理解し、子育てで家庭のニーズに応じた多様な支援体制について学ぶ。
	保育の対象の理解に関する科目	子ども家庭支援の心理学	Psychology of Child and Family Support	専門	必修	講義	2	30	30		家族、家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の視点から理解をする。
		子どもの理解と援助	Understanding of Children and Support	専門	必修	演習	1	30	30		保育の実践において実態に応じた子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの重要性について理解する。
		子どもの保健	Child's health	専門	必修	講義	2	30	30		子どもの疾病や適切な対応について理解し、緊急時の対応や安全管理について具体的に学ぶ。
		子どもの食と栄養	Child's food and nourishment	専門	必修	演習	2	60	30	30	健康な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基礎知識を学ぶ。
	保育の内容・方法に関する科目	保育内容の理解と方法(身体)	Chilcare Program (Bodily Expression)	専門	必修	演習	1	30	30		子どもの発達と身体表現に関する知識と技術を習得し、表現方法を身に付ける。
		乳児保育Ⅱ	Infant nursing careⅡ	専門	必修	演習	1	30	30		3歳児未満児の発達・保育について学んだことを、実践的に考える。
		子どもの健康と安全	Health and Safety for Children	専門	必修	演習	1	30	30		保育における衛生管理や事故防止、危機管理、災害対策などこどもに対する安全管理について、理解する。
		障害児保育Ⅱ	Nursing of handicapped childrenⅡ	専門	必修	演習	1	30		30	様々な障がいについて理解し、保育における発達の援助・環境構成について学ぶ。
		社会的養護Ⅱ	Social protectionⅡ	専門	必修	演習	1	30	30		児童養護のプログラム・処遇の実際を学ぶ。
		子育て支援	Parenting Support	専門	必修	演習	1	30	30		保育士の専門性を背景とし、保護者に対する相談・助言・情報提供、行動見本の提示等の支援を理解する。

2023年度 教科課程

こども保育科夜間主コース

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間 数	学期別 時間数		科目概要
								前期	後期	
必修科目	保育実習	保育実習Ⅰ（保育所）	Practice teaching in child welfare institutions	専門	必修	実習	2	80	80	子どもとの関わりや観察を通して子どもへの理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ。
		保育実習Ⅰ（施設）	Practice teaching in child welfare institutions	専門	必修	実習	2	80	80	児童福祉施設及び社会福祉施設の機能と保育士の職務について学ぶ。
		保育実習指導Ⅰ－②	Studies for Practice teaching in child welfare institutions	専門	必修	演習	1	30	30	保育実習の意義・目的を理解する。また実習の振り返りを通じて次回の実習に学びをつなげる。
	総合演習	保育実践演習	Practical Training in child care	専門	必修	演習	2	30	30	今まで学んだ知識、技術を基に、実践を通して子どもに対する支援方法を考える
選択必修科目	愛着と自立	Development of Attachment	専門	選択必修①	講義	1	15		15	特に児童養護施設や乳児院の子どもやその愛着形成・自立について学ぶことで、将来保育者となった時の支援に活かす。
	赤ちゃんと保護者の心理	Psychology for Baby and Guardian	専門		講義	1	15		15	既習の「乳児保育」の学びを活かし、さらに乳児と保護者の心理面についても理解を深めるとともに、保育者としての支援を学ぶ。
	障害児の心理	Psychology for Disabled Children	専門		講義	1	15		15	既習の「障害児保育」の学びを活かし、さらに障害児の心理面の発達への理解を深め、将来保育者となった時の援助やその家庭への支援に活かす。
	学研保育トレーニングゼミ	Gakken Child care training	専門		講義	1	15		15	学研の教材や保育方法を基に、保育に対する実践の幅を広げる。
	知育研究	The teaching materials of the child	専門	選択必修②	講義	1	15		15	学研の知育教材について、実際の保育・幼児教育現場での活用を学ぶ。
	こどもとおもちゃ工作	Toys and Children	専門		講義	1	15		15	児童文化財の保育への展開、子どもの玩具活用、製作活動の実践について学び、将来保育現場で活用できるようになる。
	世界の子どもと保育（国内研修）	Different Childcare of the World (Home)	専門		演習	1	30		30	日本人としてのアイデンティティの確立や価値観や文化の違いを尊重する力を身につけ、将来保育現場における多文化共生保育の考え方を育む。
	世界の子どもと保育（海外研修）	Different Childcare of the World (Abroad)	専門		演習	1	30		30	日本人としてのアイデンティティの確立や価値観や文化の違いを尊重する力を身につけ、将来保育現場における多文化共生保育の考え方を育む。
	選択音楽Ⅰ	Music (select) I	専門	選択	実技	1	30	30		保育者として必要な音楽の技術を学ぶ。
	選択音楽Ⅱ	Music (select) II	専門	選択	実技	1	30		30	保育者として必要な音楽の技術を学ぶ。

2023年度 教科課程

こども保育科夜間主コース

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単位 数	時間 数	学期別 時間数		科目概要
								前期	後期	
選択必修科目	保育実習Ⅱ	Practice teaching in child welfare institutions	専門	選択必修	実習	2	80	80		子どもとの関わりや観察を通して子どもへの理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ。 ※「保育実習Ⅱ」選択者は、「保育実習指導Ⅱ」も履修する
	保育実習Ⅲ	Practice teaching in child welfare institutions	専門		実習	2	80	80		居宅型児童福祉施設及び障がい児通所施設の機能と保育士の職務について学ぶ。 ※Ⅱ、Ⅲいずれかを履修。「保育実習Ⅲ」選択者は、「保育実習指導Ⅲ」も履修する
	保育実習指導Ⅱ	Studies for Practice teaching in child welfare institutions	専門	選択必修	演習	1	30	30		保育実習の意義・目的を理解する。また実習の振り返りを通じて今後の学びを深める。 ※Ⅱ、Ⅲいずれかを履修。「保育実習指導Ⅱ」選択者は、「保育実習Ⅱ」も履修する
	保育実習指導Ⅲ	Studies for Practice teaching in child welfare institutions	専門		演習	1	30	30		施設実習の意義・目的を理解する。また実習の振り返りを通じて今後の学びを深める。 ※Ⅱ、Ⅲいずれかを履修。「保育実習指導Ⅲ」選択者は、「保育実習Ⅲ」も履修する
独自科目	こども教室Ⅱ	Childcare PracticeⅡ	専門	選択	演習	4	135	90	45	乳児期・幼児期における発育・発達に応じた指導技術を実践する。
				2年次 設置総単位数 59単位 最低取得単位数 33単位					2年次 設置総時間数 1640時間 最低取得時間数 840時間	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、33単位以上44単位未満とする
 選択必修①より2科目2単位を選択し履修のこと
 選択必修②より1科目1単位を選択し履修のこと
 世界の子どもと保育(国内研修)・世界の子どもと保育(海外研修)
 については、6段階評価の対象外とし、S(合格)・U(不合格)で評価する。

2023年度 教科課程

キャリアデザイン科

1年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数 前期 後期	科目概要
自己 管理 能力	導入教育	introductory education	一般	必修	講義	1	30	30	キャリアデザイン科で学び、就職するための 「身構え・気構え・心構え」を身につける
	認知特性	self- cognition	専基	必修	講義	2	30	30	認知特性を理解し、自分の特性(長所、短所) を知る
	心理学	psychology	専門	必修	講義	2	30	30	心理学、心理検査、心理療法に触れ、自分を 知り、人の心理について理解する
	健康管理能力検定 でいこう講座	preparation for health management examination	専門	必修	講義	2	30	30	「体内時計」の働きやしくみを理解することで健 康管理・予防医学の知識を習得し、検定に合 格する。
	エクササイズ	exercise	一般	必修	演習	1	30	30	就職後継続して働き続けるために必要な体力 とその維持方法を様々な運動を通じて身につ ける
人間 関係 形成 能力 ・ 社会 形成 能力	自己表現講座	self- expression	一般	必修	講義	4	60	30	自分を知り、その場面に合わせた表現の仕方 を表現できるよう知識、技術を身につける
	SNS講座	Social Media Course	専門	必修	講義	4	60	30	パソコンの基本操作(ワード・エクセル)の操作 を習得する。SNSへの投稿方法や、情報管理 の知識を身につける
	ビジネスマナー検定 講座	Business Etiquette Test Preparation Course	一般	必修	演習	1	30	30	ビジネスに必要な人間関係やマナー・話し方を 理解し、社会の基本ルール(=職場常識)を身 につける
	ライフスキル トレーニング	life skills training	専門	必修	演習	2	60	60	就職後自立・自律して生活し、働き続けるため の知識・技術を身につける
	音楽	music	一般	必修	演習	1	30	30	歌うことや演奏することを通じて姿勢・呼吸法 を身につけ、表現力を向上させるとともに協調 性を身につける
	好き発見講座	You Favorite Discovery Course	専門	必修	演習	2	60	30	色んな分野の職業を体験し、自分に出来る仕 事や、やってみたい仕事を見つける
課題 対 応 能力	キャリアデザイン 講座	career design	一般	必修	講義	8	120	60	人間関係形成力・社会形成能力・課題対応能 力を養い、表現できるようになる
	現場総合学習	comprehensive approach to extra-curricular activity	一般	必修	演習	6	180	90	課外活動についてPDCAサイクルの手法を用 いて自分たちで企画・実施・振り返りを行う
	ソーシャルスキル トレーニング(SST)	social skills training	専門	必修	演習	2	60	30	社会で生活していくために必要な技術を身に つける
実習	インターンシップ	internship	専門	必修	実習	1	45	45	希望する就職分野の就労体験をして、 将来像を明確にする
						総単位数 (39)		総時間数 (855)	

※「導入教育」「インターンシップ」「現場総合学習」

は6段階評価の対象外科目であり、評価はS(合格)、またはU(不合格)とします。